

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号炉及び4号炉の地震等に係る新規規制基準適合性
審査に関する事業者ヒアリング(138)、(171)」

2. 日時：令和5年3月29日(水) 16時00分～18時06分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査
官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、馬場係
員、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他7名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について（追加
資料）

〈〈本年3月1日に受領済み〉〉

・浜岡原子力発電所 基準津波の策定のうち地震による津波について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はいそれで、規制庁鈴木です。それでは時間になりましたので、
0:00:08	浜岡原子力発電所の津波に関するヒアリングを廃止します。
0:00:14	今日のヒアリングはもともと3月1日付ですかね。
0:00:19	基準地震動の策定のうち地震による津波についてというものと、あとは地震以外の要因のコメント回答その関連する補足資料等も含めて大分なものが提出されてますけれども、
0:00:33	本日はそのうち、基準図地震による津波について、あと本日付で追加資料と、
0:00:43	ということで、これは3月9日の世良の会合ですかねスケジュール部分のラップアップのところで、追加資料ということで伺ってますので、
0:00:55	その追加資料が出てきているということでこの二つですかね、資料について説明、確認をして確認をしていくという流れになります。ではまず中部電力の方から資料の説明をお願いします。
0:01:09	はい。中部電力天野でございます。本日は、本日お時間いただきましてありがとうございます。今鈴木さんからお話ございました通り基準津波の策定のうち地震による、
0:01:19	津波についてを整理しておりまして本日付で追加資料という形で、基準津波の策定の方針の部分を
0:01:29	冒頭の方に多数ような形で、再度整理してきてございますので、順番に一連、ご説明をさせていただきたいと思えます。説明時間、大体30分程度で考えてございますよろしく願いいたします。
0:01:44	中部電力の加藤でございます。
0:01:46	浜岡原子力発電所基準津波の策定のうち、地震による津波について説明します。
0:01:52	まず2ページと3ページは本資料の説明内容になります。
0:01:56	3ページの方を読み上げさせていただきますけれども、本資料では、基準津波の策定の全体方針を示した上で、医師による津波、プレート間地震の津波、
0:02:08	海洋プレート内地震の津波、海域の活断層による地殻内地震の津波の全体概要を取りまとめるとともに、
0:02:15	その内、海洋プレート内地震の津波評価、
0:02:19	海域の活断層による地殻内地震の津波評価について説明します。
0:02:24	なおプレート間地震の津波評価については、前回、
0:02:28	前回第1109回審査会合において、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:31	水位上昇側、水位下降側ともに、敷地への影響が大きい評価結果は拾えているだろうと考えているとご確認いただいた一方で、
0:02:40	プレート間地震の津波評価全体としての方針、論理構成を再点検するようコメントをいただき、
0:02:46	現在取りまとめ中のため、プレート間地震の津波評価の全体概要は、前回審査会合資料を再掲しております。
0:02:54	4 ページには基準津波の策定の全体方針をお示ししています。
0:02:58	箱書きを読み上げますが、
0:03:00	基準津波は、歴史記録及び津波堆積物に関する調査を行った上で、敷地に影響を及ぼす可能性のある津波発生要因として、地震による津波及び地震以外の要因による津波について、
0:03:13	最新の科学的技術的知見に基づき、不確かさを考慮した津波評価を行うとともに、
0:03:19	津波発生要因の組み合わせも考慮して、水位上昇側及び水位下降側のそれぞれについて、敷地に及ぼす影響が最も大きい津波を基準津波として策定します。
0:03:30	これらの津波発生要因のうち、プレート間地震の津波は、地震規模が大きく、敷地への影響が支配的と考えられることから、敷地への影響の観点から、特に網羅的な検討を行うこととし、
0:03:42	またプレート間地震の津波の波源域内に位置する地すべり津波は、プレート間地震による地震動によって発生する可能性を有し、かつ津波波源が重なることから、
0:03:53	地すべり津波及びプレート間地震と地すべりの組み合わせについても、敷地への影響の観点から、特に網羅的な検討を実施します。
0:04:02	また、南海トラフの特徴である分岐断層について、プレート間地震の津波の評価にあたり、プレート間地震に伴う分岐断層への破壊伝播を考慮した津波評価を行うこととし、
0:04:13	その際には、プレート間地震に伴う地殻内地震の活断層への破壊伝播を想定しても、その影響が分岐断層への破壊伝播を考慮した津波評価で代表できることを確認します。
0:04:25	5 ページには、基準津波の策定の方針のうち、
0:04:29	各津波発生要因の津波の評価方針をお示ししています。
0:04:33	上から地震による津波、地震以外の要因による津波、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:38	G C、地震発生要因の組み合わせについての評価方針を記載しており、上の黄色の箱書きの地震による津波が今回の説明内容です。
0:04:48	この記載のこの部分の記載をブレイクダウンしましたのが、3月22日に提出させていただきました、本日もう一つあります、263のR00の方の資料、
0:04:58	この追加資料というものでございまして、こちらに、こちらの資料で説明いたします。追加資料の方ご覧ください。
0:05:11	まず追加資料の表紙からですが、表紙の下に点線の箱書きがありますが、本資料は先ほどの地震津波の資料の5ページ以降に追加する予定でございます。
0:05:22	2ページには、基準津波策定の方針のうち、地震による津波の論点となりうる課題と対応方針を閉め検討方針をお示ししています。
0:05:31	表の左側には、論点となりうる課題として、第1089回会合で説明しました浜岡の特徴に基づく課題と、先行審査と共通の課題を記載しています。
0:05:43	浜岡の特徴に基づく課題としましては、海洋プレート内地震、地震の地震規模に関する浜岡の地震動評価の審査結果の範囲についてと、
0:05:52	その下の海域の活断層の断層長さ等に関する浜岡活断層評価の審査結果の反映とがあり、
0:05:59	詳細は後程説明いたします。
0:06:02	また先行審査と共通の課題である、プレート間地震との影響程度の違いを考慮した津波評価についてですが、
0:06:09	こちらは括弧で記載しております通り、プレート間地震が支配的となる先行サイトでは、その他の地震の影響がプレート間地震と比べて小さいことを、
0:06:18	安部の予測式等による評価により確認した上で、数値シミュレーションによる津波評価や波源の断層パラメータに関するパラメータスタディを省略しています。
0:06:28	右側の検討概要について、
0:06:30	こちらも詳細は後程説明しますが、評価結果のところに記載しております通り、想定した海洋プレート内地震海域の活断層による地殻内地震の津波について、
0:06:41	それぞれ安部の予測式により敷地への影響が相対的に大きい地震を選定し、波源モデルを設定して数値シミュレーションによる津波評価を行った結果、敷地前面で最大、T+6.1メートルとなりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:54	この結果はプレート間地震の津波と比べて明らかに小さいことから、波源の断層パラメータに関するパラメータスタディまでは実施しないこととしました。
0:07:04	3 ページには、津波発生要因の組み合わせに関して、論点となりうる課題と対応方針をお示ししています。
0:07:13	まず浜岡の特徴に基づくものとして、津波の組み合わせの対象とする波源選定が挙げられます。
0:07:20	右側の検討方針には項目として、
0:07:23	検討する津波発生要因の組み合わせと、検討対象とする波源モデルの選定を挙げており、
0:07:30	検討する津波発生要因の組み合わせについて、津波発生要因の組み合わせによる津波として、
0:07:36	敷地への影響は支配的であるプレート間地震との組み合わせを検討することとし、
0:07:41	津波審査ガイドに示されるプレート間地震とその他の地震。
0:07:46	地震と地すべり、
0:07:47	地震と山体崩壊の津波のうち、敷地周辺の海底地すべりは、プレート間地震の地震動時地震動を起因として発生する可能性を有し、かつ津波波源が重なることから、
0:07:59	敷地への影響が大きいと考えられるプレート間地震と海底地すべりの組み合わせを検討します。
0:08:05	また分岐断層除くその他の地震、海洋プレート内地震、海域活断層による地殻内地震は、
0:08:12	プレート間地震の発生と関連性はなく、津波が重なることは考えにくいですが、
0:08:17	このうち、海域の活断層による地殻内地震はプレート間地震の震源断層の上にある海底地すべりと同様の位置に分布していることを慎重に考慮し、
0:08:27	プレート間地震と海域の活断層による地殻内地震の組み合わせも検討することとします。
0:08:33	ここでプレート間地震と陸上地すべり、もしくは山体崩壊との組み合わせは、
0:08:38	プレート間地震の地震動を起因として、陸上地すべりや山体崩壊が発生する可能性はありますが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:45	これらより敷地に近い海底地すべりの津波評価の方が大きいことから、
0:08:50	プレート間地震と海底地すべりの組み合わせにより代表して検討することとしました。
0:08:57	次に検討対象とする波源モデルの選定ですが、検討対象とする波源モデルは、それぞれ単独の津波評価の結果から、敷地への影響が大きい津波波源を、
0:09:07	敷地における津波の時刻歴は系統に基づき、津波が重なる可能性を確認のうえ選定します。
0:09:14	(1) のプレート間地震の波源モデルは、
0:09:17	プレート間地震の津波評価の結果、敷地への影響が大きいとして選定した南海トラフの基準断層モデルは、
0:09:24	いずれも敷地の津波高等が同程度であることから、すべて検討対象として選定します。
0:09:31	(2) の海底地すべりの波源モデルは、海底地すべりの津波評価の結果、敷地への影響が最も大きい s 26 地点の海底地すべりを敷地の評価地点における津波の時刻歴は系統に基づき、
0:09:44	プレート間地震の津波と重なる可能性があることを検討、確認の上、検討対象として選定します。
0:09:50	また S 26 地点の海底地すべりより敷地への影響は小さいですが、その中でも、相対的に影響の大きい海底地すべりについても、プレート間地震との組み合わせによる影響を確認し、
0:10:02	必要に応じて検討対象として選定します。
0:10:06	(3) の海域の活断層による地殻内地震の波源モデルは、海域の活断層による地殻内地震の津波評価の結果、敷地への影響が最も大きい御前崎海脚西部の断層体の地震を、
0:10:18	敷地の評価地点における津波の時刻歴は系統に基づき、プレート間地震の津波と重なる可能性があることを確認の上、検討対象として選定します。
0:10:28	また御前崎海脚西部の断層体の地震より、敷地への影響は小さいですが、その中でも、相対的に影響の大きい海域の活断層による地殻内地震についても、プレート間地震との組み合わせによる影響を確認し、
0:10:41	必要に応じて検討対象として選定します。
0:10:44	次に、先行審査と共通の課題として、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:48	津波を組み合わせる時間差の評価地点と津波を組み合わせる時間差の検討方法を挙げています。
0:10:54	津波を組み合わせる時間差の評価地点としては、
0:10:57	基準津波の策定における評価地点、敷地前面 1 から 5 号取水槽、34 号取水塔を対象とします。
0:11:06	また、津波を組み合わせる時間差の検討方法ですが、海底地すべり海域の活断層は、プレート間地震の地震動を起因として、海底地すべり等の地点に振動が到達する時間、
0:11:18	P S から当該地点での地震動継続時間、T D の時間範囲 T s から T s プラス T で発生するものとし、
0:11:27	この時間範囲において、一体計算による網羅的なパラメータスタディを、津波の周期よりも十分短い間隔 3 秒間隔まで段階的に実施します。
0:11:37	一体計算によるパラメータスタディにあたっては、
0:11:40	津波発生要因の組み合わせケースが基準津波となることから、計算負荷は大きいですが、
0:11:46	海溝近傍のプレート境界や分岐断層の場合に、海底の地殻変動は短波長となることに留意し、水深に応じて、
0:11:55	海底地殻変動補正した津波初期水位を与える方法。梶浦 1963 を津波審査ガイドに基づき考慮します。
0:12:03	またパラメータスタディ結果及びパラメータスタディ因子の傾向分析により、
0:12:07	パラメータスタディが網羅的に行われていること。
0:12:10	津波発生要因の組み合わせの結果として、敷地に最も影響の大きい津波が選定できていることを確認します。
0:12:18	次の 4 ページから 6 ページには、先ほど説明しました。
0:12:21	組み合わせ検討対象とする波源モデルと、その津波評価結果をあわせてお示ししております。
0:12:27	4 ページのプレート間地震の波源モデルは、
0:12:30	選定した南海トラフの基準断層モデル、計 14 モデルをすべて組み合わせ対象とします。
0:12:37	5 ページの海底地すべりの波源モデルは、
0:12:40	表の赤のハッチングで示す敷地への影響が最も大きい s 26 地点のほか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:46	黄色でハッチングした相対的に影響の大きい海底地すべりについても、プレート間地震と組み合わせによる影響を確認し、必要に応じて検討対象として選定します。
0:12:56	最後に 6 ページですが、
0:12:58	海域の活断層による地殻内地震の波源モデルについても、
0:13:02	海底地すべりと同様、右の表で赤ハッチングとしている敷地への影響が最も大きい御前崎海脚西部の断層体の地震に加え、その次に影響の大きい黄色でハッチングしている断層の地震についても、
0:13:15	プレート間地震との組み合わせによる影響を確認し、必要に応じて検討対象として選定します。
0:13:22	追加資料の説明は以上になりまして、元の地震津波の資料の方に戻っていただきたいと思います。6 ページからお願いいたします。
0:13:42	で地震津波の資料の 6 ページですけれども、こちらは前回会合の資料の再掲となりますが、プレート間地震の津波評価の全体以外を、
0:13:51	次の 7 ページと 8 ページには、それぞれ海洋プレート内地震と海域の活断層による地殻内地震の津波評価の全体概要をお示ししております。
0:14:00	9 ページには、地震による津波の評価結果の概要を示しており、
0:14:05	海洋プレート内地震、海域の活断層による地殻内地震の津波の影響は、プレート間地震の津波と比べて小さいことを確認しました。
0:14:14	10 ページは、浜岡の概要。
0:14:17	11 ページは、敷地周辺の既往津波、
0:14:20	12 ページは資料を再構成中ですが、プレート間地震の津波評価の検討概要をお示ししております。
0:14:27	13 ページをお願いします。
0:14:33	13 ページは、海洋プレート内地震の津波評価の検討概要ですが、
0:14:38	フローに示す通り、海洋プレート内地震に関する調査、
0:14:42	検討対象とする地震の選定、津波評価の手順で検討します。
0:14:47	まず上の箱の海洋プレート内地震に関する調査として、敷地周辺で津波を発生させる南海トラフの海洋プレート内地震及び、南海トラフ沖合の海洋プレート内地震に関する文献調査を実施し、
0:15:00	敷地に影響を及ぼす可能性がある海洋プレート内地震として、南海トラフの海洋プレート内地震と南海トラフ沖合の海洋プレート内地震を選定しました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:11	南海トラフの海洋プレート内地震については、御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震として、南海トラフ軸付近で発生した 2004 年紀伊半島南東沖の地震。
0:15:22	M7.7、4 を敷地に近い遠州灘沿岸域の御前崎沖に想定し、
0:15:28	また南海トラフ沖合の海洋プレート内地震としては、銭洲断層系による海洋プレート内地震を想定しました。
0:15:36	次に検討対象とする地震の選定として想定した海洋プレート内地震について、安部の予測式により津波高を評価した結果、それらの津波高は敷地前面で最大 2.3 メートルとなり、
0:15:50	プレート間地震の津波の敷地前面、TP + 22.7 メートルと比べて小さいことを確認し、
0:15:56	その中でも、敷地への影響が相対的に大きい御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震を検討対象とする地震として選定することとしました。
0:16:07	一番下の津波評価では、
0:16:10	御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震について、波源モデルを 2004 年紀伊半島南東沖の地震の分析結果等に基づき設定し、
0:16:20	波源位置を敷地前面の海溝軸沿いで、敷地に近い複数箇所を設定して、数値シミュレーションによる津波評価を実施した結果、
0:16:28	海洋プレート内地震の津波は敷地前面で T + 6.1 メートルなどとなり、
0:16:34	プレート間地震の津波と比べて明らかに小さいことを確認したことから、波源パラメータに関するパラメータスタディまでは実施しないこととしました。
0:16:43	次の 14 ページには、
0:16:45	海域の活断層による地殻内地震の津波評価の検討概要をお示ししています。
0:16:51	左のオレンジの枠内ですが、まず活断層調査として、敷地周辺海域の活断層調査結果に基づき、単独で活動する地殻内地震の活断層、13 断層と、
0:17:04	単独では活動せず、プレート間地震に伴い、自動的に断層破壊が生じる分岐断層 4 断層を海域の活断層として認定しました。
0:17:13	次にその下の箱書きの通り、検討対象とする地震を想定するために、
0:17:18	地殻内地震の活断層 13 断層による地震について、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:23	上の予測式により津波高を評価した結果、それらの津波高は最大で、敷地前面で最大 2.2 メートルとなり、プレート間地震の津波と比べて小さいことを確認し、
0:17:34	その中でも敷地への影響が相対的に大きい地震として、
0:17:38	御前崎海脚西部の断層体の地震。
0:17:41	遠州断層系の地震。
0:17:43	後 18 断層の地震を検討対象とする地震として選定しました。
0:17:49	最後に津波評価では、検討対象とした地震について波源モデルを活断層調査結果に基づいて設定し、数値シミュレーションによる津波評価を実施した結果、
0:18:00	海域の活断層による地殻内地震の津波は、敷地前面で T + 4.7 メートルなどとなり、
0:18:06	海域の活断層による地殻内地震の津波は、プレート間地震の津波と比べて明らかに小さいことを確認したことから、波源パラメータに関するパラメータスタディまでは実施しないこととしました。
0:18:19	15 ページから 17 ページに掛けては、
0:18:23	プレート間地震、海洋プレート内地震、海域の活断層による地殻内地震の津波評価結果をお示ししています。
0:18:30	18 ページをお願いします。
0:18:35	18 ページは、海洋プレート内地震の津波評価の申請時からの変更概要になります。
0:18:42	左が申請時、右が今回の評価概要ですが、
0:18:46	変更概要赤字で示します通り、評価、津波評価において、波源位置を 1 ヶ所ではなく、複数箇所設定して数値シミュレーションによる津波評価を行うこととしました。
0:18:57	19 ページは、会議の活断層による地殻内地震の津波評価の変更概要になります。
0:19:03	同じく変更箇所を赤字で示していますが、活断層評価に係る審査結果を反映して、海域の活断層の新規認定や断層長さの延長を行い、
0:19:13	またそれに伴い検討対象とする地震を追加して津波評価を行うこととしました。
0:19:19	20 ページは海洋プレート内地震と海域の活断層による地殻内地震の津波評価結果の変更概要になります。
0:19:27	21 ページからは、各地震の津波評価に関する説明になりまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:33	22 ページからはプレート間地震の津波評価の概要をお示ししています。
0:19:38	前回会合資料の再掲ですので説明はしませんけれども、23 ページが、検討概要。
0:19:45	24 ページが検討フロー。
0:19:47	25 ページと 26 ページが津波評価結果となります。
0:19:53	次の 27 ページからは海洋プレート内地震の津波評価について説明します。
0:19:59	28 ページは概要の再掲になります。
0:20:03	29 ページからは、南海トラフの海洋プレート内地震に関する調査について記載しております。
0:20:10	29 ページは、過去の地震動の資料の再掲になりますが、南海トラフ沿いのフィリピン甲斐プレートが沈み込む領域についてお示ししています。
0:20:19	30 ページは、南海トラフの海洋プレート内地震の地震規模についてですが、
0:20:25	左に示す通り、フィリピン甲斐プレートで発生した海洋プレート内地震の最大規模のほか、
0:20:30	フィリピン甲斐プレート特徴が類似した海洋プレートで発生した地震の最大規模、
0:20:36	地震発生層の地域性を考慮した地震規模について調査し、その結果に基づき、南海トラフの海洋プレート内地震の地震規模として、M7.4 の、
0:20:46	2004 年 紀伊半島南東沖地震と同じ規模を考慮することとしました。
0:20:52	31 ページの図には、フィリピン会プレートで発生した海洋プレート内地震の地震規模を示しています。
0:20:58	箱書きの 2 ポツ目の通り、敷地に比較的近い地震はこれまで知られておらず、敷地から 200 キロメートル程度離れている、トラフ軸付近で発生した 2004 年 紀伊半島南東沖地震の規模は M7.4 となっています。
0:21:14	また 32 ページにはその地震の概要として、左に震央分布、
0:21:19	右上に余震分布、
0:21:21	右下に各地形に降りられた地震モーメントを示しており、地震モーメントとしては約 1.7 から約 2.1×10 何乗。
0:21:31	Mw は 7.4 から 7.5 となっています。
0:21:35	33 ページは、国内外でフィリピン会プレートと類似したプレートで発生した地震の概要。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:41	34 ページには、地域性を考慮した地震規模の想定についてお示ししています。
0:21:47	左の図に示す通り、日本海溝の沈み込む海洋プレート内地震について、海溝軸付近で発生した地震の最大規模は、2012 年に発生した地震の M 7.3 であり、
0:22:00	海溝軸より沖合で発生した地震の最大規模は 1933 年昭和三陸地震の M 8.1 になります。
0:22:08	また敷地周辺に沈み込むフィリピン甲斐プレートと太平洋プレートの地震発生層の地域性を地震モーメント M0 と断層幅 W のスケーリング則に基づき考慮した結果、
0:22:19	中央の図の通り、太平洋プレートで M8.1 の地震が発生することは、フィリピン甲斐プレートで M7.4 の地震が発生することと等価であることを確認しました。
0:22:32	35 ページには、ここまでの調査を踏まえた、南海トラフの海洋プレート内地震の想定について示しており、
0:22:39	箱書きの一部、1 ポツ目の通り、
0:22:41	地震の発生位置は、南海トラフで発生する海洋プレート内地震の波源位置をあらかじめ特定することは困難であると考え、
0:22:49	敷地に近づけることを前提とし、図に赤線で示す通り、敷地前面の海溝軸沿いで敷地に近い位置としました。
0:22:58	また地震規模は南海トラフで発生した過去地震の最大規模のほか、
0:23:02	当該プレートと特徴が類似した海洋プレートで発生した地震規模、
0:23:07	海洋プレートの地域性を考慮した地震規模について、調査結果に基づき、
0:23:11	2004 年紀伊半島沖の地震と同じ規模を想定することとし、
0:23:16	2004 年紀伊半島南東沖の地震の地震規模が M w 7.4 から 7.5 とそう推定されていることを踏まえ、
0:23:24	保守的な値を考慮しました。
0:23:26	このように想定した地震を、御前崎の想定静岡御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震と交渉します。
0:23:34	また 36 ページには、南海トラフ沖合の海洋プレート内地震の想定についてお示ししています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:41	南海トラフ沖合の海洋プレート内地震について、南海トラフ沖合のフィリピン甲斐プレートの断層を、日本周辺海域の広域の地質を、地形判読及び音波探査記録を用いて網羅的に調査した。
0:23:54	日本周辺海域の第4紀知識資質構造図により確認しました。
0:23:59	その結果、南海トラフの沖合には、図の赤線で示す銭洲断層系が認められることを確認し、
0:24:06	銭洲断層系は、南海トラフ沖合の断層の中で、断層長さが大きく、
0:24:12	敷地に近いことから、影響が最も大きいと考えられます。
0:24:16	そこで、銭洲断層系による海洋プレート内地震を、南海トラフ沖合の海洋プレート内地震として想定することとしました。
0:24:25	37ページには、想定した海洋プレート内地震について、安倍の予測式により津波高を評価した結果をお示ししています。
0:24:33	表に示す通り、これらの津波高は最大で2.3メートルとプレート間地震の津波と比べて小さいことを確認しましたが、その中でも敷地への影響が相対的に大きい。
0:24:44	御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震を検討対象とする地震として選定しました。
0:24:52	38ページには補足としまして、
0:24:54	水当行周辺の海洋プレート内地震の影響検討を示しており、敷地南方に位置する伊豆海嶺前期リフト断層系について、阿部の予測式により津波高を比較した結果、
0:25:06	御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震の影響が最も大きいことを確認しました。
0:25:12	39ページからは津波評価についてですが、39ページには、御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震の断層パラメータ。
0:25:22	40ページには波源位置に関する設定条件をお示ししています。
0:25:26	南海トラフの海洋プレート内地震と想定した御前崎沖の想定し、
0:25:32	沈み込むな海洋プレート内地震、地震の波源位置は、
0:25:36	敷地前面の海溝軸沿いで敷地に近い複数箇所に線設定することとし、表に示す通り、平面位置として、トラフ軸方向とトラフ軸直交方向にそれぞれ4ケース、
0:25:48	傾斜方向として、2004年伊半島南東沖の地震と、その教育断層の2ケースを考慮することとしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:56	41 ページから 44 ページはこれまでの資料と内容が同じのため、説明は割愛しますが、
0:26:02	41 ページに計算条件、
0:26:05	42 ページに、
0:26:06	失礼しました 41 ページに計算手法、42 ページに計算条件、
0:26:11	43 ページと 44 ページにそれぞれ水位上昇側と下降側の評価地点及び評価方法をお示ししています。
0:26:19	45 ページと 46 ページには、それぞれ水位上昇側と水位下降側の波源位置に関する検討結果をお示ししており、
0:26:27	津波評価の結果、最大上昇水位は T +6.1 メートル。
0:26:32	最大下降水位は T P マイナス 7.0 メートルとなりました。
0:26:37	47 ページには、海洋プレート内地震の津波評価結果とプレート間地震の津波評価結果をあわせてお示ししており、下の箱書きの通り、海洋プレート内地震の津波は、プレート間地震の津波と比べて明らかに小さいことを確認したことから、
0:26:53	波源パラメータに関するパラメータスタディまでは実施しないこととしました。
0:26:58	48 ページからは、水位上昇、48 ページには、水位上昇側と下降側の最大ケースの水位分布図と時刻歴分けを示しています。
0:27:08	次の 49 ページからは、海域の活断層による地殻内地震の津波評価について説明します。
0:27:15	50 ページは概要の再掲になります。
0:27:19	51 ページには、これまでの活断層評価に係る審査内容等を反映した活断層調査結果をお示ししています。
0:27:27	敷地周辺海域の活断層調査結果に基づき、
0:27:30	左の図と右の表に黄色のハッチングで示す通り、単独で活動する地殻内地震の活断層、13 断層と、
0:27:38	ピンクのハッチングで示す、単独では活動せず、プレート間地震に伴い、自動的に断層破壊が生じる分岐断層、4 断層を海域の活断層として認定しました。
0:27:49	52 ページには、検討対象とする地震の選定についてお示ししています。
0:27:54	会議の活断層のうち、単独で活動する地殻内地震の、
0:27:59	活断層による地震について、阿部の予測式により津波高を評価した結果、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:03	右の表に示す通り、それらの津波高は敷地前面で最大 2.2 メートルであり、
0:28:09	プレート間地震の津波と比べて小さいことを確認し、その中でも敷地への影響が相対的に大きい御前崎海脚西部の断層体の地震、遠州断層系の地震。
0:28:20	及び、518 断層の地震を検討対象として選定しました。
0:28:25	53 ページには補足として、
0:28:28	プレート間地震に伴う地殻内地震の活断層への、
0:28:31	破壊伝播のコールの確認について示しています。
0:28:35	箱書きですが、プレート間地震の津波評価にあたっては、単独で活動せず、プレート間地震に伴い、自動的に断層破壊が生じる分岐断層への破壊伝播を考慮した津波評価を行うこととし、
0:28:47	検討対象とする分岐断層を、以下の白丸で示す通り、阿部の予測式による津波高の評価に基づき選定しました。
0:28:55	まず左上の図に青線で示す、
0:28:58	B、B 案、外縁隆起体に関連する分岐断層に断層のうち、
0:29:03	津波高が大きい倒壊断層起因を検討対象として選定しました。
0:29:09	また、同じ図で、緑線で示す B I I 全国解剖を区切る隆起体に関連する分岐断層に断層のうち、
0:29:17	速やかに大きい御前崎海脚東部の断層田井牧ノ原南里オオノ断層を検討対象として選定しました。
0:29:24	また右の表に示す通り、単独で活動する地殻内地震の活断層は、安倍の予測式による津波高が分岐断層の津波高と比べて小さいことを確認し、
0:29:35	プレート間地震に伴う地殻内地震の活断層への破壊伝播を想定しても、その影響は検討対象として選定した分岐断層への破壊伝播を考慮した評価で代表できると評価しました。
0:29:51	以上からプレート間地震の津波評価では、分岐断層への破壊伝播を考慮したモデル検討揚げモデル B として、断層破壊が東海断層系伝播するモデルと、
0:30:01	断層破壊が御前崎海脚東部の断層対熊崎南里様の断層へ伝播するモデルを検討しました。
0:30:09	54 ページからは海域の活断層による地殻内地震の津波評価についてです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:15	検討対象として選定した三つの断層の地震について波源モデルを活断層調査結果に基づき、土木学会 2016 の方法を用いて設定し、数値シミュレーションによる津波評価を実施しました。
0:30:29	54 ページには御前崎海脚西部の断層体。
0:30:33	55 ページには、遠州断層系、56 ページには、518 断層の波源モデルと断層パラメータをお示ししています。
0:30:42	57 ページには、
0:30:44	海域の活断層による地殻内地震の津波評価結果とプレート間地震の津波評価結果をあわせてお示ししており、
0:30:51	下の箱書きの通り、海域の活断層による地殻内地震の津波は、プレート間地震の津波と比べて明らかに小さいことを確認したことから、波源パラメータに関するパラメータスタディまでは実施しないこととしました。
0:31:04	5859 ページは、それぞれ水位上昇側と水位下降側の最大ケースの水位分布図と時刻歴分けを示しています。
0:31:13	60 ページからは最近になりますが、地震による津波の評価、評価のまとめになります。
0:31:19	61 ページには地震による津波の評価結果の再掲。
0:31:23	62 ページから 64 ページには、プレート間地震の津波評価結果、海洋プレート内地震の津波評価結果。
0:31:30	海域の活断層による地殻内地震の津波評価結果をお示ししております。
0:31:35	説明は以上になります。
0:31:41	規制庁鈴木です。説明ありがとうございました。ここに確認していく前に、冒頭の部分で、一応、
0:31:53	確認したいんですけど、これ 3 月 1 日のヒアリング資料の、
0:32:00	そこで、あれですね地震による津波概要ということでページ、
0:32:06	56、
0:32:10	あんの。
0:32:13	85678 までのところと、今回追加資料で説明があったところで、
0:32:19	この基本全部一種、一緒ですか、それとも、この 3 月 1 日バージョンと、この 3 月 29 日本日バージョンのところ、少し考え方が変わっ
0:32:32	ている部分と違っていうのあります。
0:32:35	ちょっとね、
0:32:36	そこをまず確認したいんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:41	はい。
0:32:43	ちゅ。
0:32:47	入ってますか。10円。すいません。中部電力の盛です。まず1点、考え方を変えているところがありますので、その点についてご説明させていただきます。
0:32:56	追加資料の方で、今回ページ3ページ目の、津波発生要因の組み合わせ。
0:33:05	のところで、今回、論点となり得る課題と検討方針ということで、検討方針を記載させていただいてます。
0:33:12	その中で、検討する津波発生の組み合わせの部分ですね、
0:33:19	ちょっと文章長いですけど太字で、主
0:33:22	上から5行目ぐらいでプレート間地震と海域の活断層による地殻内Gの組み合わせも検討することとしたというところについては、衛藤さんが1日に携わっていただいている資料から、自主的に方針を変更しているところでございます。
0:33:37	で、こちらは資料3月1日に提出した後にですね、3月2日のラップアップや、そのあとの面談で対応方針、
0:33:47	まず論点となり得る課題と検討方針をお示しするようということをご指示いただいている中で、当社として、より積極的な対応当初から取りたいということで、方針を変更させていただいております。
0:33:59	で、今、ご指摘の部分ですね、本編資料の方だと、
0:34:06	全体方針の4ページ等で組み合わせ、
0:34:09	津波発生の組み合わせとして今海底地すべりしか書いてないというようなどころについては、今回、次回資料提出時に、
0:34:18	今回記載を改めさせていただいたところに合わせて、修正させていただきたいと思っております。以上です。
0:34:28	はい。わかりましたそうすると、
0:34:31	何だプレートないと、海域活断層、
0:34:37	の方針は、これは3月1日と、現在も変わっていないと。
0:34:42	組み合わせのところでは組み合わせの対象として何をというところが変わっているのだけれども、これもともと今の追加しようって、去年の11月の会合で、
0:34:54	あの時にほぼ箇条書きぐらいですよ。ここまで具体的に何と何を組み合わせるかまでは書いていなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:00	去年の11月時点でも、検討発生の組み合わせ何と何を組み合わせるか、波源モデルをどう選定するか、時間差の評価視点をどこかとかここに青字で、
0:35:11	追加資料の3ページで青字で書いてるようなことは箇条書きで書いてあってこれについて今取りまとめる最中ですよっていうのが確か去年11月ですよ。
0:35:20	それについて特に別に3名、3月1日のヒアリング資料もそうだし、3月9日だったかな、会合資料のところでも、
0:35:31	3月9日の会合資料も具体的に何を内容組み合わせるかまでは書いてなくて、
0:35:36	そこまでは、いわゆる3月1日のヒアリング資料の前提で話をしていたんだけど、
0:35:42	9日の会合でも一応そのガイド上、一応こういうものを検討項目として挙がってるよっていうのはこちらからも言っていて、ラップアップでも同じような話をしたんですけども、
0:35:53	もちろんその
0:35:54	会合で、指摘をされてから追加するか或いはある程度先回りをして、検討してくのは検討していくのかっていうのはそれは御社の考えだと思いますけど。
0:36:06	差分があるのがこの組み合わせ対象としてDISベリー。
0:36:10	以外のものが出されたということとそれに伴って3ページでいうと(3)かな、検討対象の波源モデルの選定の(3)が当然ながら、
0:36:19	またされると。
0:36:20	ということで、そこはありましたそこでちょっと差分があるということで、これは
0:36:27	今後、整合させるような形で資料を、
0:36:31	出し直す、最後と統合していく過程ですよ、
0:36:35	というところで、そこが認識、その前提ですみません今日は中身の方確認をしていこうと思います。
0:36:43	じゃ、その前提で、今いわゆる組み合わせ対象としてちょっと検討を加えますと言っている。
0:36:51	プレート内じゃないや海域活断層か分岐断層以外の海域活断層、
0:36:57	といったものも、特にその詳細なパラスタはやらなくていいんですよというところは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:02	以前変わってなくて、
0:37:05	そこわあ、ごめんなさい。
0:37:09	パラス組み合わせのときに、パラスターをやろうとしていて、いわゆる単独、海域活断層の単独のところでは、単独の評価としてはパラスター以来、もう、
0:37:20	プレートがはるかに小さいってことさえ言えばよくて、パラスターの時になったら、赤線で組み合わせのときになったら、組み合わせ対象に何があるかを決めてそこで何か
0:37:31	海域活断層のパラスターやろうとしているのかとか、ちょっとそこら辺の位置付けを教えてもらっていいですか。
0:37:38	はい。まず、
0:37:39	はい中部電力天野でございますすみません追加資料を出して出さしていただいて3月1日に資料を出しているのもそっちの方の手入れができていないということでちょっと今日の時点でわかりにくい。
0:37:53	というところもありますので口頭でご説明させていただきますが私たちとしましては、プレート間地震より、規模として明らかに小さいですよというまず、
0:38:03	そこはやります。一方で、今鈴木さんからご指摘あった通り海域の活断層を組み合わせるのに、全然パラスタしないものはそんなダブルなもので、
0:38:15	やるっていうのはおかしいと考えてますので次、2回目のヒアリングの時にはこの活断層の方は、パラスターを実施したいというふうに考えてございます。
0:38:31	はい。ちょっとそこら辺で今、
0:38:35	プレート内とか海域活断層の単品の
0:38:39	ところはあくまでパラスタをしない状態で評価をクローズさせて組み合わせのパートになってからパラスターをちょっとそこはそういうわけじゃないですよ。
0:38:47	それはすいませんちょっと言い方が悪かったですねまず、海洋プレート内、
0:38:53	地震と海域の活断層同じステージとしてプレートからの22メートルというクラスに比べては5メートル程度というところで、十分影響は小さいでしょうという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:06	評価をした上で活断層の方は、次に持っていくので個別の中で、しっかりパラスターを実施選手として、作り上げるというつもりでいますので、組み合わせる時じゃなくて、
0:39:19	この個別の資料故郷 3 月 1 日に出しているもの。
0:39:24	の、
0:39:25	中に、パラスターを織り込んで、最後組み合わせるという形で考えてございます。
0:39:32	なるほど、わかりましたそうすると、この追加資料の 2 ページで言うところの、
0:39:39	先行審査と共通のものという、
0:39:42	ここは明らかに大小関係が言えればいいので、詳細なパラスター実施しないこととしたとだけこのページには書いてあるんだけど、どうなるんだねこれ植野浜岡の特徴に基づくものところに、
0:39:55	だとはいえ、組み合わせがあるので組み合わせ対象になるものは、パラスターやるみたいなのさそうさういうことですか。
0:40:02	中部電力天野です。はい、おっしゃる通りですいませんちょっとそこまで書き込んできたらよかったんですけど一方で 3 月 1 日の資料に入っていないじゃんという議論になろうかと思って今日、
0:40:12	この辺りをご説明させていただいた上で次のヒアリングの時は、一色、そこを織り込んで文書の方もしっかりそこがわかるような形に修正をさせていただきたいというふうに考えてございます。
0:40:28	一応すいませんちょっと一番大きいなところとか気になってるところはそこだったので、入口でですね、
0:40:36	層相ちょっとその次の会合のときなんですけど何か唐突にや何かこれまでずっとこういう考えで、絵画を変えたことを別に責めるつもりは全くない先回りしようというのはそれは結構なことなんで、
0:40:49	だから 11 月とか 3 月 1 日の時点でこうだったんだけど、3 月 1 日の会合のときにこういう話があったんで、
0:40:58	それによって、こういう部分は少し方針を変えて、
0:41:02	この
0:41:03	新しい、少し新しくした方針で持ってきましたでは説明しますという、ちょっとそこら辺、どこを課題を先回りしてやっているのかっていうのが、もっとわかるようなことを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:15	にわかるようにしてもらえたらいいかなと思いますけどね。はい、清水加茂です。承知いたしました。もう鈴木さんおっしゃられた通り、特に3月9日のスケジュールのお話を、
0:41:27	大嶋規制部長等からもお話いただいている中で
0:41:31	この浜岡の基準津波を策定していく中で、
0:41:34	組み合わせっていうのが最後一番大きな論点になろうかというところを考えまして、私たちが、どういうことをやっていくかというところ、期末の対応方針という形で、
0:41:47	ご説明させていただいて、特にこの、
0:41:50	津波2の組み合わせの対応方針は、
0:41:53	割と具体的にご説明させていただいて、そういう考えでやっていくなら、いよいよであろうというご判断いただきますとそのあとの解析等が、
0:42:03	非常にスムーズに進むということもありまして今回、
0:42:09	先出しで自分たちの考えをご説明させていただくという形をとりましたので、その辺り資料の中でもわかるように記載をさせていただきたいと思います。
0:42:23	はい、よろしくお願いします。
0:42:25	その上で、方針とは今後パラスターをやったりしていかないと、具体的に最後どういうものが組み合わせさっていくのかっていう姿は多分現時点では、
0:42:37	持ち合わせていないのかな、方針として書いてあるんですけどね。
0:42:41	で、
0:42:44	プレート間のところで、これ、プレート間の時にも、
0:42:48	プレート間単独でチャンピオンなった基準断層モデルが、組み合わせのときに、
0:42:54	一番影響が大きい組み合わせ元かというのと、ほぼほぼ一緒なんでなかなか難しいですねと。
0:42:59	話はしてあって、おそらくそれが追加資料3ページ目の(1)ですかね。
0:43:07	一応基準断層モデル1シリーズ2シリーズはシリコンシリーズが一応同程度なんで、
0:43:15	これは一応その組み合わせ元の検討対象としては考えますっていうんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:21	基準断層まで選んだとって次はあれかな、ライズタイムと破壊伝播速度破壊開始点っていうのがそのあとパラメータとして振ることになっているので、
0:43:32	同じ基準断層モデルでも、ライズタイムが違ったり、破壊伝播速度破壊開始点が違ったりっていうケースは、ありますよね。
0:43:40	で、
0:43:42	ほぼ同じGなんだったときに、後々その組み合わせる時間なのかをよく考えながら組み合わせ対象物を選ぶってなったときに、いや、は、
0:43:53	どう考えても、他チャンピオンとチャンピオンの組み合わせだからいいんですっていうシンプルなサイトはいいんですけど、
0:43:59	いやいやいやいや、この場合だと組み合わせ、チャンピオンと枠組み組み合わせられないけど、何か準チャンピオンと組み合わせますみたいな話になっていくとですね。
0:44:11	これ破壊伝播速度とか破壊開始点とか、ライズタイムいじってもあまり関係ないのかな。
0:44:17	要はプレート間地震が起こってから、相手方のもの例えば地すべりとかを誘発させるまでの時間とか、タイミングとかそのスタートと、
0:44:28	地震継続時間とか、後のところと、
0:44:31	微妙にずれるんですかねこれ、ちょっとそういうところも含めて、何て言うか意味で、
0:44:37	この基準断層モデル1シリーズから4シリーズ全部見ますって書いてあるのか、基準断層モデル1シリーズの中の1-1の、
0:44:47	破壊開始段階伝播速度ライズタイム。
0:44:50	一応チャンピオンがありますよね。
0:44:52	そのレベルで見ていこうという意味で書いているのか。
0:44:55	ちょっとそのあたり、どこまでやっていくかっていうのがですねあんまり見えないんですよ。
0:45:00	後も地すべりとか、その海域活断層とか、
0:45:06	組み合わせを検討しますっていうのが書いてあるんですけど、このどういようなやり方でやっていって再を選んでいくのかその時にどこまでの検討がなされるのかが、
0:45:16	言えないので、何となくイメージで、地すべり以外のものもやるのねと言って、後々こう蓋を開けてみると、いやもしかしたらこういうケース

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	組み合わせるかもしれないじゃないかそれちょっと時間もちょっとずれるんじゃないかとかって、
0:45:31	いう話をですね後から出てくると結構大変かなと思っていて、
0:45:35	この辺もう少しですね、あのやり方という工法ですかね、考え方はこうなんでしょうけど、こういう方法でやって見つけていくんですっていうところが、今の段階で見えるようにしておくよ。
0:45:47	あとで手戻りがあるなり、ちょっと追加解析が必要になりました。また時間かかりますみたいな、
0:45:54	ちょっとその先行サイトみたいなことにならなくて済むのかなとちょっとそういうことを思ってます。
0:46:00	この辺どうなんですかね考えとしては今、
0:46:05	はい、中部電力の森です。なかなか結果を見ながら、どんどん追加していくというところも最終的にあるのかなというふうに思っているの、なかなか今どれをやりますというのはちょっと書けない状況ではあるんですけども、
0:46:17	今試験的にやってみた感じとしては、4 ページ、4 ページというかプレート間地震の津波、特に敷地前面で 22.7 メートルなってる津波と、
0:46:28	あとは、今一番大きい海底地すべりの s 26 地点の 6.3 メートルの津波、このところの第一波がかなり重なるような状況でいますので、
0:46:38	比較的シンプルにその最大の家単独で最大のケースを最大、最大のケース、
0:46:43	一番大きくなると、というようなところは、示しているのかなと思っています。
0:46:48	で、
0:46:51	はい。で、他の
0:46:53	他の海底地すべりが実際に大きくなるのかというような観点から多少ほかのものも組み合わせて検討する必要があると思いますので、このあたり、
0:47:03	今 5 ページで示している改訂すべきだと他の黄色で示してあるところも少し、県への影響の検討ということで、実際に解析をやってみて、それらを超えないということも確認すると。
0:47:15	というようなことが、上昇が比較的シンプルに示せるのではないかなというふうに考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:20	他方で、下降側については、単純にそのピークピークというわけではなくて、
0:47:27	水位低下時間という、ある程度のバンドを持ったところで、その
0:47:31	前側でちょっと下がるのかとか、後ろ側にちょっと下がるのかというところで、単純に一番波が大きいと、
0:47:40	影響が大きくなる組み合わせの影響が大きくなるということでもないのかなというのをちょっと今、印象的にはもう試検討の印象では思っておりますので、
0:47:48	ある程度上昇側と下降側で網羅的にどこまでやるかというところが、変わってくるのかなというふうに考えていると、少し試検討の状況としては非常に考えています。で、
0:48:00	もう少し、そのような状況ですね。
0:48:03	単独の時刻歴をちょっと並べさせていただくなどして、ピークピークが重なるかどうか、実際にやってみたら笠名るかどうかというような時刻歴の少し並べさせてもらうだとかっていうことは、
0:48:13	今回、方針の時点に対応させていただいた方がいいかなというふうに、今お話を聞いて思っております。
0:48:19	以上です
0:48:23	はい。
0:48:23	他ありがとうございます。
0:48:27	今の、現時点でもある程度敷地前面プレート間の方の敷地前面って割とその第1ピークがぽんと来て、あとはその第1ピーク以降は、多分何が重なっても、
0:48:40	それをこういうことがないぐらいのものすごいピークが来ているので、割とシンプル。
0:48:45	ちょっと直近でやってる別のサイトだとその第2ピークで第3ピークだあってなって、どれとどれが重なるんだってかなり難しくなるんですけど、そういうところが割とシンプルだと思うので、そういうのを今もうすでに、
0:48:57	ある程度目星をつけながら、
0:49:00	プレート間のは形がこうで時間体がこうなので、これと重なるものは何だっっていうのは、一応考えとしては、探し始めてはいるわけですね、少し

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:10	組み合わせ先のものまである程度こう出していくのかそこまで当然審議しないで現時点で考えているもので、当然触れ海域活断層とか、
0:49:20	地すべりも審議結果になったもしかしたら変わるかもしれないイシカワないかもしれないってのはあるんですけど、
0:49:25	多少今もうプレート間の方は、葉系とかの特徴とか、
0:49:30	基準断層モデルが変わってもじゃあどのぐらい下がるのがないのかという、その辺はできるはずなんで、ちょっとそこら辺は、示してもらいながら説明を聞くと、何をやるのかっていうのは見えてくるとは思っています。
0:49:44	あと、これ取水槽もそんなに変わんないのかな。
0:49:48	節移送のそのまた第1第2だピークだみたいな形なのかも、大体ある程度のところで最大のものが来てしまってるってことであれば、
0:49:57	今ねこれ放水講師が志賀大体多分今、いつも参考でつけません敷地前面と放水工しか出ないから、
0:50:06	取水槽の関係ってそういえば、これだけ、前回の資料見ないとわかんないんでね。
0:50:11	ちょっと後でじゃ見るようにはしますけど、
0:50:14	過去がもうそんなに複雑
0:50:18	ですかね加古案プレート間で、30分後60分後90分後の方が30体分単位ぐらいで、加工ピークがきて、第2ピークの60分ぐらいのところがあれ一番何でしたっけ確か違うかな。
0:50:32	あんまり複雑に何か水位回復パルスとか、多分そういうことはやってないですよ。だからそうすると、何かその重なったとしても前後にちょろっとつけ出されるぐらい、
0:50:45	んだし、回復するとき一気にぼんと水が上がっちゃうので、そんなに微妙なところで、どこまで伸びるかっていうのは、そんなに影響し、
0:50:55	どこにつけ出されるかって言うぐらいだと思うんで、そこら辺もう組み合わせ元と組み合わせ先のは形とかを見ながら、いやこういう考え方で出していくんですけどかっていうのは、
0:51:06	見えるようにしていけばですね、
0:51:10	場合によっては、なんかな、すべてその重なるのかっていうのを時間を綿密に見ていった方がいいのか、或いは、いやもうこれが重なるんだから土台これを超えるような国は存在しないでしょうっていう、
0:51:21	説明をされようとしてるのかとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:24	そこら辺もクリアになってくるかと思うので、少し考え方はわかるようにしていただきたいかなという。すみませんちょっと幾つかの、
0:51:32	この辺があると。
0:51:34	ある程度今後、
0:51:36	御社多分一番気にするのは、曾田大幅な追加解析みたいなものが出るとそこが一番の時間的ネックになるので、そういうものがある、もし必要なものがある、議論していく結果必要あるんだったら、
0:51:49	極力早めに洗い出したいということだと思いますんで、
0:51:54	そういう議論ができるような資料っていうのをお願いしたいなと思います。
0:52:01	その上で
0:52:05	ちょっと追加の同じ。
0:52:07	追加資料の3ページ目のところで、時間差の評価してこれは当たり前といえば当たり前でもプレート間でこの場所で評価してるわけだからこれは当たりの話で、
0:52:17	時間差の考え方に別2、ちょっと字づらで読む限りそんな、
0:52:22	特殊なことをやろうとしているわけではないんですけど、一番下の括弧先行サイトで議論中って言ってるこの、これ一番下のポツのことなんですかねこれ先行サイトで、
0:52:33	言ってるのは、まあまあじゃ許可が出ているわけじゃないですよ議論中って書いてあるから、これは一番下のポツのことを言っている。
0:52:44	パラメーター因子の傾向、パラメーター鏑、
0:52:48	ここ一番下のこと言ってるんですかね先行サイトで議論中で3ページに書いてあったんで、
0:52:52	これどこのサイトのどの議論のことかなと思って。
0:52:57	女川当然この長さとかではないわけですね許可をもらったところではない、ないはずだから、
0:53:03	はい。中部電力の毛利です。現在進行中の東通だとか泊だとか、大庭さんですね、最近ちょっと審査進んでるかということありますけど、その辺りで議論になっていると。
0:53:14	いうことを踏まえて記載させていただいているものです。
0:53:18	それは、一番下、上の1個目の上も上もそうか少し割りで少し議論になったかなと思って、8月時点ではそんな議論もあったので、記載させていただいたものなんですけども、そこまで

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:33	現時点で課題すぐ大きな課題になるとあまり思って、はい。あんまりだからその議論の途中のところを参考にするというよりは、基本は、
0:53:43	何て言うか申すしシンプルにすでに議論済みというか、決着がついているところを参考にするんですかね、何かその隣のものを見ながらやりますというとなんかそこが、
0:53:54	何かを終わらなかつたりそこで何かし、くちゃくちゃになると、また自分たちのところにはね返ってくるので、
0:54:01	わかりました。
0:54:04	オオイ。
0:54:11	ね、あともし、これもどうしようもない細かい話なんですけど、
0:54:15	5 ページとか 6 ページとか、田端とか取りまとめていくと久米組み込んでいくとわかるんですけど、結構この嘉穂下降側の
0:54:26	ところで多分これ飲み口-5メートル6メートルだったかな、何かこの辺って、
0:54:32	水位低下時間ない、下端レベルを下回りって言うてる方のレベルの後に何か括弧書きで何メートルを下回るかどうかなんですっていうのは、
0:54:43	わかるように書いといた方が出てますそんなに別に。
0:54:46	文字が増えるわけでもないの、
0:54:50	一応本編とかを見ていくと、それで計算条件は出てくるんですけど、
0:54:54	あれな、何メートルだったかっていうことになるので、これは本当に単なる趣味的な問題です。
0:55:01	追加のところは、すいません多少、
0:55:05	考え方は、
0:55:07	部分的に変わってそれによって今必要な検討をしているっていうのがあったので、少し
0:55:15	ある程度、
0:55:17	何か遺跡として何が必要になってきそうなのかっていうのは御社としても、
0:55:21	追加のものが必要かどうかっていうのが、
0:55:24	早目に洗い出せるような資料で持ってきてくださいと。
0:55:29	ちょっと追加のところだけなんで、個別のプレート内とかはもう一旦、あと後でまた確認しますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:37	はい。中部電力はアマノでございます。ありがとうございます。今お話いただいた通りで少し先行でいろいろ議論になっていることは承知しております。まして浜岡。
0:55:50	津波のやっぱり、先ほど盛が申し上げた通り特徴。
0:55:54	としましては、港がないというのが非常に大きくてですね、プレート間地震の津波っていうのがもう、
0:56:03	第一波で 22.7 っていうのが、北切りつつ芸の構造化ってのはもうメーターとか下回ってしまうようなものなので、まず、
0:56:14	組み合わせる対象として基準断層モデルの 1 から 3 まで、選んできたやつを選んでおけばまず一番支配的なところは当然選べていると。
0:56:25	ということでその辺りは形でお示しすすの他の地すべりとか、活断層もそんなに
0:56:32	一般目が割と特に滑りの 1 番目が大きいので、
0:56:37	複雑な事象というのは起きにくい。港湾の中で、こういう周期によってすごく指導用して、全然か。
0:56:46	加古川のチャンピオンがトップになっちゃうみたいなそういう事象は起きないことは確認してますので、割とそういうところはしっかりとご説明できる。
0:56:56	ページはつけたいなというふうに考えてございます。
0:57:00	あとは、ちょっと今日の資料でまだ書き切れてないので次回ご説明したいんですけど、
0:57:07	何もなく、数が、
0:57:09	多いと。
0:57:10	いうところが非常にありまして、例えば、
0:57:15	李滑りでも S26 っていうのを、まずメインだとするものの、うん。
0:57:22	5 ページにあるような、
0:57:24	時点に来るようなやつが追い越さないかというところを当然確認していくんですけどこれを、
0:57:30	全部 3 秒ピッチでやります。1 万とかそういうケースになってしまってもいい。
0:57:37	計算時間間に合わないというところもあります。この辺り、少々最初は駄目で、傾向をしっかりと分析した上で、スクリーニングして、やっぱり S26 の影響が大きいというようなところを、
0:57:49	お示しした上で、そこを、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:52	より詳細にやるというようなことも考えてございまして、ちょっと今日、1日の資料があったもんでなかなかそこまで書き切れてませんので次の資料でしっかり
0:58:02	わかるような表記をしたいと思っております。
0:58:14	既設のナグラです。
0:58:19	それぞれの単独波源、
0:58:21	地すべりと、
0:58:22	プレート間地震。
0:58:25	これの何ていうかな、線形足し合わせと実際の大計算との関係。
0:58:31	その関係をちょっとよく見た上で、泊みたいな。
0:58:35	必要なことにならないのであればある程度整合的な分析ができるのであれば、
0:58:42	やっぱり単独のものである程度、絞り込みをやった上で、最低限、
0:58:49	一体計算をやるとか、
0:58:52	何かちょっとそこら辺、あまり無駄のないやり方っていうかそういうのを少し考えていただいた方が、
0:59:00	いいのかなっていうちょっと、泊の方は、なかなか難しい状況になっているのでそこはもう、
0:59:06	直達はと。
0:59:09	反射もしくは解説はとの組み合わせとて、防波堤。
0:59:14	そこら辺が少し絡み合っていて、非常に複雑な体系になってしまっているんで、
0:59:19	ここはちょっと逆に、平たんな海岸線、
0:59:24	港湾とか防波堤はないっていう話であとは要注意なのは、解説はですね、
0:59:32	波源が、
0:59:33	駿河湾の内側とかにあると解説案の影響が入ってきてしまうので、ただそういう波源は今、とか、おそらく考えないとしてるんだけど本当に考える必要がないのかっていうそこら辺の説明を今後してもらう必要がありますけど、
0:59:47	そういったサイトの特徴を考慮した上でどうするかっていうことを、
0:59:53	サイトの特徴ですねそれをしっかり考えた上で、やり方を考えていただく。
0:59:58	必要があるかなというのはちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:02	連絡はアマノでございますありがとうございます。
1:00:06	サイトの特徴、先ほど申し上げた通りちょっとしっかりそのあたりが、ご説明できるようなものも、次回、織り込んでご説明させていただきたいと思います。
1:00:19	はい。ちょっとね私もこれ、今の部分とか見てて、
1:00:23	谷中S26とカーでまず検討するんだけど、何かそれが重ならなかったら、その時点のものに何か落としていくというようなことを考えてるのかなあと思いながら5ページを読んでたんですけど。
1:00:35	いやは、あまり
1:00:37	逆転現象とかがあまり考え、ないっていうのがある程度言え、
1:00:42	仕掛けり入れて、一番のチャンピオンとか、そこらと組み合わせるんだってわかれば、何とかそれ以上の下地ものを物どこまで、
1:00:50	手を出すかっていうところは、
1:00:53	考え物かなと思いますけどね。はい。
1:00:57	そういうことですかね。あと、
1:01:00	これも
1:01:01	言葉の問題なんですけどその3ページの下で1個だけ確認しておきたかったのが、
1:01:07	組合ねこれ3ページの上から4行目。
1:01:11	で地すべりと組み合わせるとそのあとはいいんですけど、分岐断層除くその他はプレート間地震の発生とは、
1:01:20	関係性がなく、
1:01:22	ていうのは、
1:01:24	もちろん
1:01:25	分岐断層そのままで滑りが海溝軸に行かずに分岐断層が流れていきますということで、
1:01:32	これそれに比べて、重なる可能性はるかに小さいというような意味なのかもしれないんですけど、
1:01:40	これはプレート間地震のは発生したとしても別段この
1:01:45	対応プレート内とか海域活断層の方の発案か、断層の活動性というものは、それは独立。
1:01:51	なので、そもそも、
1:01:54	縁もゆかりもないんですっていう、そういうことなんですかね。それとも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:59	さすがにプレート間でM9クラスが起これば、ある程度その
1:02:04	その震源域のところでの、何か地震活動に何か影響を与えるんだけど、 とはいえ同時にはならないって、それは極めて可能性としては低いでしょう うとはいえ、
1:02:15	地すべりを見てるんで見ましようっていうそういうことなんですけど、 この辺をもうちょっと詳しく、その考えをですね、教えてくださいとい うか、一応前回から考え方変えてきているので、
1:02:26	あんまりこういうところをですね介護っていうか
1:02:31	文字づらの関係で、
1:02:33	何か言われる事からやっただけですねっていうふうに、
1:02:36	そこの目的のところとか考え方のところで、無駄な会合であんまりそう いうところの無駄な議論をしたくないので、ちょっと意味を確認しよう かなと思ってます。
1:02:49	はい。中部電力の。
1:02:50	森です。
1:02:52	分岐断層は今、鈴木さんがおっしゃられた通りで、関連性があるとい うのはもう、プレート間地震の1形態ということで考えているということ で、除くということを書かさせていただいてます。
1:03:01	で、その他の地震というか地震と地震ですね、コウハンおっしゃられた 通りで、単独の地震同士が一緒に起きるということについては、基本的 には間、
1:03:13	関連性がないというふうに考えております検討不要というふうに考えて います。その上で、
1:03:20	より慎重な方が保守的な評価として地すべりを、そもそも地震動で、
1:03:28	動かすということを考えているということで、その地すべりと同じよう な位置にあるこの海域の活断層についても、評価上安全評価上、検討す る必要があるというふうに今回考えを変えまして、
1:03:41	会議の活断層については組み合わせを検討するというふうに今回方針を 変えているというところでございます。
1:03:53	はい。
1:03:54	ですので、何か内部でもそちら側でもいいんですけど、これって、
1:03:59	ちょっと女川とか他のところでも見ても、多分

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:05	ハザード評価の時とかに、そのプレート間単独と、何かそれ以外のところの活断層ですよね。分岐断層じゃなくて、会議活断層とかと組み合わせた場合って、
1:04:16	どのぐらいその発生確率というか、何かで所長確率が変わってくるのかとか、多分そんなものってどこにも見たことがないんで、
1:04:25	ちょっと出せるんですかねそれ、別に出してくれってここで出してくれって言うわけじゃないんですけど。
1:04:31	後々プレート間とこういうものが笠名宇和検討して重ねました。それってプレート間単独よりもいやこれだけ結構な低頻度を拾われてるんですよっていうのは、
1:04:42	何か出たりするもんなんですかあまり技術的に今つくって不可能なんですか。誰かわかる人いますかね。通常の通常にP R A的に考えればプレート間地震が大体今、
1:04:55	最大クラスで考えて、10のマイナス5乗オーダーで、いわゆる活断層の頻度っていうと、1000年に1回というようなこと言われる値掛け算でいくと10のマイナス8乗。
1:05:06	を超えてくると思いますので、I A E Aの基準でいけば、無視し得る範囲になるであろうということはこの記載の中の頭の中にありますがあくまで決定論での話なので素行は、
1:05:20	ちょっと明記はしてないってところでございます。
1:05:25	わかりました単純にそういうようなイメージはつくけどってことですね。はい。はい。
1:05:31	わかりました。
1:05:52	すいませんちょっとこの冒頭の方針的なところで少し時間使っちゃいましたけど、このあたりで何か不明な点か、伺いますなければ、
1:06:02	一応プレート内となり甲斐海輝活断層ということで、説明あるのでちょっとパラスタの部分は置いといてですね、それぞれそれぞれのところで、
1:06:14	確認をしていきたいと思いますけど。
1:06:18	よろしいですね。
1:06:20	そしたら、
1:06:22	個別個別のところでの説明があったので、
1:06:31	そうですね。
1:06:57	間、
1:07:02	ちょっと他ある方いたら先にいただけると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:07	ちょっと一旦、
1:07:09	プレート内とかその辺はちょっと自分の中で整理しようかなと思ったんで、何かありますかねほか、
1:07:15	はい。
1:07:19	規制庁佐口ですけども、ごめんなさい。すごく細かいことなんですけど、
1:07:26	ちょっと追加資料のところで、
1:07:28	まず文言文言というか、
1:07:32	気になったのは先ほど3ページのところで、プレート間地震、
1:07:37	この発生との関連性っていうのはありましたけど、
1:07:41	それ、
1:07:43	はそれとして、
1:07:45	3ページの上から、
1:07:47	1、2、3行目、最初のポツの3行目の、
1:07:53	最初の方なんですけどその差。
1:07:57	発生の可能性とかっていう後の、この津波波源が重なるっていうのはどういう意味なのかちょっと教えてください。
1:08:09	はい。中部電力の盛です。3行目の、左から十文字目ぐらいの津波波源が重なるというところだと思います。
1:08:18	こちらの地すべり階プレート間地震と海底地すべりの組み合わせのところで言及しているところでございます、
1:08:27	まず、プレート間地震の地震動を起因として発生すると、ほぼ同時ぐらいで発生する可能性があるということと、あと津波波源が重なると、要はプレート間地震の震源域の中にいるということで、
1:08:38	プレート間地震の水が発生するエリアの中に、海底地すべりもいるので、タイミングで当然重なり得るということを
1:08:46	記載してるつもりで津波波源が重なっているというふうに記載させて、
1:08:51	はい、規制庁サグチわかりましたじゃこれ単純に津波が重なるっていう意味じゃなくて、波源として重なるという、
1:08:59	そうすると逆にお聞きしたいのは、
1:09:03	先ほどのプレート間地震と発生の8スプレーとか地震の発生と関連性はなくていうところですね、例えば海洋プレート内地震、海域の活断層、
1:09:14	ていうのと、先ほどの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:18	ご回答のあった津波波源が重なる。
1:09:21	ということは、
1:09:23	基本的には、
1:09:25	海洋プレート内であろうが、海域の活断層であろうが、
1:09:29	これはプレート間地震の、要は震源域の中にあるものは、津波波源が重なるということで、地すべりと同じような考え方を、
1:09:40	してよいと。
1:09:41	いう理解でよろしいですか。
1:09:47	はい。中部電力の森です。ちょっと、
1:09:50	3行目と4行目のところの表現が似ているとかですね、論拠がちょっとしっかりしてないのかなというふうに今ちょっと感じましたので、
1:09:58	修正を考えさせていただきたいと思います。どちらかというところ4行目の方は、先ほど少し確率みたいな話もありましたけれども、基本的には同時発生する可能性が低いので、津波が重なることはあまり考えにくいという趣旨でちょっと書いて、
1:10:13	いるものです。で、ちょっと表現が似ていて微妙なので、趣旨がちょっと伝わりにくいところもあるなというふうに思いましたので、
1:10:20	イトウはちょっとそういう意図で書かせ、表現を変えて書かさせていただいたんですけども、少し修正も検討させていただきたいと思います。
1:10:37	既設のナグラです。
1:10:39	ちょっとこれに津波波源が重なるっていうことに関しては、
1:10:43	もう少ししっかり説明できるようにした方がいいと思います。
1:10:51	上盤側。
1:10:53	の領域の中にあるってことだとは思いますが、
1:10:57	うん。それが何で、考慮しないといけないのか。
1:11:01	っていうところをもう少しわかりやすく説明した方がいい。その時にちょっとすいません。必ず、
1:11:07	つきまとうのが、
1:11:13	これは、ふっ化、
1:11:15	こっちの資料じゃないんだなんじゃまた後でそれは質問します。以上です。
1:11:23	規制庁佐口ですけど、ちょっと先ほどの確認の中で
1:11:27	私すごく気に、気になったというか、これ教えていただきたいんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:34	多分プレート間、
1:11:36	地震の津波と地すべりによる、
1:11:39	津波が、特にS-26は、
1:11:42	これタイミング的に、
1:11:44	それぞれ第一波同士が重なるタイミングにあるみたいなお話があったんですけど、
1:11:51	S26の海底地すべりの、引っ張って、これ最大値を示すものでしたっけっていうのと、
1:12:00	これはこっちこっちの別の資料を見ればいいのかもしいんですけど、
1:12:05	第一波かどうか分からないんですけどね。そうすると、
1:12:11	すごく単純な考え方をすると今、追加資料5ページにあるんですけど、敷地前面で6.3メートルで、
1:12:21	片やプレート間は22.7メートルということで、
1:12:26	当然一体計算すると、線形足し合わせないんで、そのものじゃないんですけど、今単純に、
1:12:33	計算すると、
1:12:35	これ29メートルぐらいになるんですけど、少なくともそんなに15メートルを超えるような、
1:12:42	ものに最終的にはなりそうだという、
1:12:45	ことで、
1:12:48	今、また、我々は理解しといてよろしいですかね。
1:13:02	まず、5ページの26、S26地点の地すべりについてなんですけども
1:13:09	最大の6.3が出てるところは第一波ではないです。ただ、結構第一パンも大きくてですね、
1:13:20	ちょっとそこも次回提出時にわかるようにさせていただきたいと思いますけれども、
1:13:32	4号の規制庁昨日別資料見ると、第1%が、今5メートルぐらいなんですかね、6.3メートルじゃないかもしれないんですけど、
1:13:43	ナグラ。
1:13:44	でももしこれが重なるんだったら単純ですよ。単純計算すると、今27メートルとかあるので、
1:13:53	結構、だから、
1:13:55	これまで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:57	御説明だと、実は、あれし、申請、申請当初の話ですけど、申請当初だとタイミング的に基本的に重ならないので、ほぼ
1:14:08	プレート間地震による津波そのものぐらいですという話で、22.7メートルと、
1:14:15	という。
1:14:16	話だったと思うんですけど、だからそれが、
1:14:19	結構大幅に変わるっていうそういう理解でよろしいですか。
1:14:24	はい。中部電力の盛です。まず5ページの甲斐滑りの評価について申請時はS26地点、
1:14:31	S22地点もなんすけども、まず考慮をしていなかったところを今回考慮することになっているというところがまず変わっております。
1:14:38	こちらの数字なんですけども、下に書いてある朔望平均潮位0.8メートルが入ってますので、それを抜いてこの数字見ていただくと、それ以外のところでほとんど影響がないというようなレベル感であるというのは、見ていただけたらと思います。
1:14:52	なので申請時点では、評価では、そこまで影響がなかったというようなところを今回S26地点とさらに組み合わせるということを考えると、ある程度の影響があるということを考えているところです。で、
1:15:06	当然今潮位を引くという話と、あと線形笠名層ではないので、ある程度、水深の効果で下がってくるというようなところはありますので、実際のところケース一体計算で判断をしていただければと思います。
1:15:43	はい。
1:15:44	ただ、
1:15:46	ちょっとプレート内地震のところ、一応その考えとしては一応2種類なんですかねこれ、もう実際に起こっている、ほぼ海溝軸に近いところの実例と、
1:15:58	もう少しそれより離れたところの、
1:16:02	銭洲断層系ですか、二つを考えていて、結果最終的には、本方法パラスタをやらない段階で、ストップするんですけど、
1:16:12	前崎の機能想定のところ、2.3メートルでこれが最大ですってということで、13ページの概要妥当なんか1ヶ所だけ僕が見ると後ろ見ていくと、
1:16:23	何か何ヶ所かこう、
1:16:24	方ですかね何パターンか一応考えて、
1:16:29	引いて、その最大でということなんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:33	トレイそのプレート間と比べてはるかに小さいことを示すんですよという ことではあるんですけど、
1:16:41	比較対象ってこれプレート間のパラスタやった一番最後のもの等、比較 してるんですけど、これって同じ土俵の比較なんですかね。
1:16:51	概略プラスだと、じゃあイコールの土俵かと言われると多分そこが難しく くて、今 22.7 メートルにしたのかもしれないんですけど、
1:17:01	これ多分パラスターをやる必要もないんですけどっていう段階の、阿部の式 方ではないんだけど、
1:17:06	でも阿部の式か。
1:17:08	ふうん。
1:17:11	阿部の式でやった結果、
1:17:16	小さいっていうのは阿部の式レベルなんですかねプレート内に関して、 今やってるのは、
1:17:22	それと 22.7 メートル、もう泥層と比較しても、
1:17:26	大幅に小さいんですけど、
1:17:29	タニと何を比較するのが妥当と思ってこれで比較しているのかなあとい うのを確認したいんですけど。
1:17:40	はい。中部電力の毛利です。なかなかプレート間地震と海洋プレート内 地震活断層で振るパラメーターも変わってくるっていうところもあっ て、ちょっと厳密にどの、
1:17:50	段階で比較するのかっていうのは少し難しいのかなと思ってんですけども、 まずあの家結果として 22.7 メートルという数字と、
1:17:58	海洋プレート内地震の計算をきちんとしてみて、大きい値を探してみ ても 6.1 メートルということで、結果にオーダーが違うというところで、
1:18:08	観点からですね、影響としては小さいというふうに判断しています。ち よっとその辺りの理由というか、論拠というか、が少し書き足りない というふうに思いましたので、追記をさせていただきたいと思ってます。
1:18:27	規制庁佐口ですけどごめんなさい。先ほどの説明で、
1:18:33	海洋プレート内等、
1:18:37	海域の活断層もそうなんですけど、
1:18:40	何か一番影響の大きいそうなもの、時点のものはどうかと、別として、 これ。
1:18:47	最後までパラメータスタイルでやるって話でしたよね。違います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:53	なので今ここに 13 ページ書かれている、2.3 は当然これ阿部の簡易予測式なんであれなんですけど、
1:19:00	6.1 メーターっていうのは、今後まだ変わり得るって考えてよろしい。
1:19:07	でしたっけ。
1:19:14	はい。今回組み合わせで考慮することに、方針を変更してまず海域の活断層についてはパラメータスタディが必要というふうに考えていますので、
1:19:24	衛藤甲斐プレート内については、一番厳しいところにおいてもこの程度だということを示すことで、十分というふうに考えています。
1:19:33	具体的に 5 ページの方で今回評価方針として記載させていただいて、
1:19:40	いるところ。
1:19:42	はい。
1:19:44	こちらの今地震による津波の海洋プレート内と海域の方が今両方とも小さいことというふうを書いて、
1:19:52	5 ページです。はい。
1:19:58	はい。
1:20:00	いるんですけどここ少し海洋プレート内地震と海域の活断層等で書き分ける必要が出てきているというふうに思っております、
1:20:08	海洋プレート内地震はこのままの記載でいいというふうに考えているんですけど活断層の方については地すべりと同じように組み合わせる必要があるので、詳細なパラメータスタディを実施するというような方針に変更すると。
1:20:19	いうつもりです。
1:20:40	はい。理由、何か組み合わせる組み合わせの理由づけは次のヒアリング資料で、
1:20:46	もうちょっとクリアにさせていただくとして、
1:20:49	だから海運プレート内はどちらかというと、火山から火山とかとも近いんですかね結局そのプレート間と野倉企画で大きく小さいと、
1:20:59	もう、何か細かい厳密な数字レベルというよりも、負けた頑としてどうか相場感としても大幅に小さいと。
1:21:07	いうところを示すのが、
1:21:10	ゴールというふうなお考えで、
1:21:13	その海域活断層の方なんですけど、14 ページかな。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:19	その概要で、マリンはプレート間のところの評価で、これは伝播させるかどうかの方の話なんで、
1:21:28	言ってみれば参考といえ参考。
1:21:30	で、分岐断層の方はもともとプレート間の
1:21:35	奮起ということでもうすでに見てますようと。
1:21:38	ということで、内陸地殻内地震の 13 断層は、プレート間の時には、
1:21:44	破壊分岐させるんだったら分岐断層の方が大きいですねっていうのはすでに確認してますと、とはいえここは単独の、
1:21:53	地殻内単独の話なんで、
1:21:55	これを見ますと、検討対象とするのはこれはどこでもやってるように、簡易予測をした結果、比較的影響の大きそうなものを選んで、
1:22:07	この 3 断層を選びました。これについて、
1:22:12	シミュレーションをして、
1:22:15	パラスターは今後やりますというところで今現段階はパラスターまで実施しないこととしたとなっている部分を、
1:22:22	ここはやっぱり一応プレート間単独としてプレート間に比べてうち影響が小さいということは言った上で、次のステップのためにパラスターをやるっていうような多分そんなお話だったので、
1:22:36	そこが変わって今後変わってくるのか。
1:22:40	とは思うのですが、
1:22:48	13 断層のうち 3 で、これも、
1:22:53	さっき地すべりの平成 26 年の話ありましたけど、一応これ先々見込んでも、御前崎海脚西部演習
1:23:03	英語 18 の、この三つ。
1:23:06	そもそもが、上位す、ベストスリーで、
1:23:10	パワースリーと言った方がいいのかもしれないんですけどこのベストスリーDこれをパラスターをやって、
1:23:16	この中でおそらく、
1:23:20	地すべりの方ではもうちょっとでかかったんで、これ、さらにそれを超えるかちゅうのはあるんですけど、少なくともこの海域活断層の中で、この三つが最終的に組み合わせ用にパラスターをやったとして、
1:23:34	これではなく、さらに第 4 位醍醐味を探さなきゃいけませんというふうに、
1:23:39	あそこはながらそうだというのは、一応見込みがあるんですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:46	はい。中部電力表です。
1:23:49	また時刻歴はお示しさせていただきますけども改訂作りの方でしっかり敷地前面で重なってるというところがありますので、どちらかというところらに比べてこの海域の活断層、
1:23:59	の方は影響が小さいというふうに考えております。今時点では三つともパラメーター S A R R Y を試みて、実際に組み合わせるかどうかというところを検討していくという流れかと思っておりますけども、
1:24:10	基本的には最後で選ばれてくるようなものではないと、地すべりの方は基本的に選ばれてくるというふうに考えています。
1:24:27	起こりました。
1:24:35	すいません頭んじゃこれで個別の、ちょっと後ろの方のプレート内とかの個別のところていくんですけど、
1:24:43	多分 30 ページとかかな、これちょっと教えてもらいたくって、
1:24:50	フィリピン区会プレートのこれ実際に発生してるものが最大で M7.4 ですとあって、
1:24:57	このフィリピン国内外でフィリピン回プレートと類似したプレートっていうものが、
1:25:04	こういう所が出てくるのかな、そもそもその
1:25:09	プレートが何でっていうのこれ 33 ページに、
1:25:13	書いてある特徴が比較的類似するっていうのは、
1:25:18	遊びを、
1:25:21	これ 1 個なんですかね、ちょっとこれって何か類似してるものが、
1:25:25	それでその中で最大のものを選んだっていう話なんですかね、これ 1 から 27 とかって書いてあるんですけど。
1:25:35	ここの中で、類似これ一応全部挙げてその中で類似してるものはこの 28 番っていう意味なんですけどちょっとそこら辺をもう 1 回教えてもらっていいですか。はい。
1:25:46	こちらの地震動の方で議論させていただいた資料の、最初の結論だけちょっと持ってきているところがあるので、
1:25:53	必要なら補足説明書に以前のものをつけさせていただきたいと思っておりますけれども、まず一番と 18 番が間にいると、ということが結論としてその中で起こっている地震としては、
1:26:04	ファンで不可プレートですね、の中で 6.9 の地震が発生しているというのがここ、上に書いてあることが結論です。で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:11	調べていることとしてはプレートの年代、沈み込み速度角度、また地震発生層の幅なんかが、どれが一番上の、西南日本と、
1:26:22	類似してるかというのを見たときに、
1:26:25	見ているものとしては、今、C a s c a d i aの沈み込み体だというのを特定した上でその地震規模というのを記載しております。
1:26:44	はい。わかりました三次装荷 33 を単に、
1:26:49	明示してるのがこの 18 番ですってということだけで、具体的にMw6.5の地震がとか、
1:26:56	海溝軸付近でつつうのはどの辺りで発生してるのかっていう、そういう説明ではないわけですね、これは。はい。
1:27:03	とはいえそれはす。一応これが 6.9 が発生してると言っていて、一応これが類似してる中では最大なんですかね、最大で 6.9 って意味ですかね。
1:27:14	多分その 1 個しかないのかもしれないんですけど、
1:27:18	このレベルだと。
1:27:21	はい。まずこのC a s c a d i aが間にているということ、類似しているということ特定した上でそのC a s c a d i aプレートの中、ファンですかプレイですか。なんでかプレートの中で一番大きい地震ということで 6.9 というのを特定しています。
1:27:36	わかりました。じゃあ、
1:27:39	南海トラフ沿いでの最大と、ファン
1:27:44	ファンドかプレートでの
1:27:47	これの最大化も結局、
1:27:50	確認されてる範囲で最大で、
1:27:52	それさらに地震発生層を考慮して、
1:27:57	最大で、トータルで最後 7.4 で、最後は金村切り上げて、
1:28:03	レンジを切り上げて 7.5 っていう、はい。
1:28:06	私考え方はわかりました。
1:28:45	私行きたいこと、簡潔に聞いていいですかね。
1:28:50	例えば 14 ページのところ、
1:28:54	地殻内地震のところ活断層による地殻内地震の津波評価概要のところどこでもいいんですけど、
1:29:00	例えば今回説明って書いてる活断層調査、活断層評価で説明済みって書いてあるところ。
1:29:07	これ 13 断層と 4 断層があって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:11	この文章のところを見ると、
1:29:14	単独で活動する。
1:29:17	という修飾がついた地殻内地震の活断層と、
1:29:21	単独では活動せずとつけた。
1:29:25	プレート間地震に伴い受動的に断層破壊が生じる分岐断層。
1:29:29	この単独で活動する、単独で活動しない。
1:29:33	と言ってることの、この根拠って何か具体的にあるんですか。
1:29:46	はい。中部電力の盛です。こちらの活断層評価地震動評価の中で、
1:29:53	外縁隆起体との関係とか地殻構造との関係から、このように整理させていただいているものがございます。
1:30:05	いや、中部電力がそう言って、そのままになってるからそれでそれぞれの審議が減ってるからもうこれ決まりですってそういう言い方をされたんだと思いますけど私が聞いているのは、
1:30:16	何らかの知見があったり、この具体的な根拠として何かあるんですかって聞いていただく。
1:30:24	聞きますけど、審議を通ってるから、何も言われなくて通ってるからそれでOKなんですじゃなくて、
1:30:29	根拠。
1:30:30	科学技術的根拠試験とかそんなもんあるんですかって聞いてるんです。
1:30:41	はい。中部電力の盛です。これまで審議させていただいたところも含めて、根拠を追加させていただきたいと思います。ありがとうございます。はい。
1:30:51	直接的に何か答えられませんかって聞いてるん。
1:30:55	ですけど、
1:30:56	何かここだけはっきり明言するってことは、具体的な知見があって具体的な理論があって、
1:31:03	評価してるんじゃないかなと思ったんですけどこちら辺は何かあるんですかって。
1:31:09	聞いただけですけど。
1:31:12	特に何か知見とかあるわけではないっていう理解ですかね。
1:31:21	はい。まずこのところですねちょっと組み合わせをしないというときにちょっと作った資料なので、表現がちょっと尖ってるところもあるかなというふうに思っております。表現を含めて、
1:31:35	見直しをさせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:46	中部電力の方ですが、
1:31:49	今のなかなか
1:31:51	カチッとした根拠っていうのはなかなか難しいのかなっていう感じはしていますけども、ここで単独って言っているのは、
1:31:59	個々の活断層タイプというふうなことなので、そういうふうなものは、それぞれ独立で動きますよね的な感じですねそれで、
1:32:10	分着はプレート境界面の方から結局伸びてきているということがありまして、なおかつ浅いところっていうのは、応力の蓄積とかそういうふうなものが、
1:32:22	ないというかですね非常に小さいということを考えると、結局はプレートの方の動きに、をそのまま維持するような感じで、一緒に動くだろうというそういう、
1:32:35	ことで、ちょっと書き分けてるというそういうこと。
1:32:39	かなと思います。
1:32:49	規制庁の名倉です。
1:32:53	どちらかという、単独では活動せずって言ってる方。
1:32:58	これが実際、
1:33:00	何を意味していて、
1:33:04	その分岐断層、
1:33:06	としての扱いを決めてしまっているんで、
1:33:11	この単独で活動せずと言ってるのは、プレート間と同時に動いてプレート間の新
1:33:17	波源モデルの中でもうすでに考慮されてるからいいんだっていうニュアンス。
1:33:22	それが強いんですけど。
1:33:26	この単独で活動せずっていうのをとってしまうと、
1:33:30	実は、連動みたいなものも、これ想起することになるので、
1:33:36	そういう意味で、
1:33:37	実は単独で活動せずっていう表現、これが根拠はあまりないのであれば、じゃあ何で分岐断層は、主な地殻内の活断層と同じような扱い。
1:33:50	という位置付けで検討したりすることはないんでしょうかということだったり、
1:33:55	それからあと 14 ページの右側のところで、分岐断層への破壊伝播を考慮したモデルとして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:02	検討波源モデルBとして、断層を選定してるんだけど、ここで本当に十分な検討になってるんですかっていう議論になるので、そういう意味で、少し、
1:34:15	そこら辺よく分岐断層についての今の位置付けで本当に説明し切れるのかなと。
1:34:21	この修飾語も含めて、
1:34:25	パッケージとしてどう説明をしていくんだろうか。
1:34:29	今後の議論に耐えられるんだろうかというところがちょっと問題意識としての持っているので、そこら辺のことを聞いたというのが、今日の質問の趣旨です。
1:34:42	仲川です。ありがとうございます。そこら辺のところは、非常に明確に書き分けてしまっているようなところがありますけれども、ここ、この言葉、
1:34:52	はですねやっぱりそういうことであれば、私どももちょっと注意して、そこら辺の表現は、
1:34:59	書かなきゃいけないかなと思いますんでそこら辺、
1:35:04	うちの中でもですね、もう1回検討してですね、より適切な表現にさせていただきたいと思います。
1:35:21	はい。
1:35:23	すいません再び海洋プレート内の、
1:35:26	所横野伊豆。
1:35:30	ショップ、ずっと後周辺のと言ってて、
1:35:34	何か1個これだけ1段下げて、何か補足とかっていう形さらなる補足みたいな形で、
1:35:41	入口では出てきてなかったじゃないですか。
1:35:45	もちろんその大きさもねそんなに。
1:35:49	結論、大したようなこともないんですけど、
1:35:56	これ何で1項1段だから、
1:35:59	一旦二つですかね、御前崎沖のものと、
1:36:04	全日数のものをやった上で、そのあと2、さらなる参考として伊豆のものをやって、で、
1:36:11	下回りマースということで、
1:36:15	これも最後比較してるのはこれじゃ阿部の予測式同士の比較で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:21	御前崎沖の想定沈み込む海洋プレート内地震を下回りましたっていうふうなんですけど、
1:36:31	なんかこう急になんか伊豆の話が出てきて、場所的に言うとどこなんですかね、あんまりこう御前崎沖の想定沈み込む。
1:36:40	プレートと。
1:36:42	何か明確な位置関係を示す地図っぽいものもないんですけど、
1:36:46	例えば 37 とか、39 でもいいんですけど、
1:36:50	これと重ねてどの辺のあたりになるんですかね、これ。
1:36:53	うんいる。
1:36:54	何とかプレート内、伊豆藤湖周辺って言ってるのは、
1:36:59	はい。中部電力の森です。36 ページの方で、色はついてないんですけども断層が、
1:37:08	島野津島というか、伊豆小笠原弧の方に、
1:37:12	幾つも書いてある、こちらになります。
1:37:16	はい。で、もっともっとですねこちらの、
1:37:21	以前一度ヒアリングではお出ししたことがありまして、もともとはそのフィリピン会プレートの地震について整理するというので、今の
1:37:32	37 ページに示している、
1:37:35	想定沈み込むと銭洲断層系、いずれもフィリピンかプレートの中で、海洋プレート内地震の中で、一番大きいものを探していくというようなものを、
1:37:43	お示ししてたんですけども 36 ページみたいな
1:37:47	ちょっともう変え遅れてないじゃないかもしれないけど伊豆東高の方にも自信があるので、
1:37:52	そちらの影響どうかということもご指摘があったということ踏まえて以前こちらを追加させていただいたというような経緯があったかなというふうに思っております。
1:38:11	そういうことですか。ないというのも変なんだけど、
1:38:17	しかもプレート内も外にあるんだけど、
1:38:20	一応あるよねっていう、その程度ということですね。
1:38:23	36 の中に図示されているので、その影響っていうのはないんですよ。ああ、そうですか。意味で、
1:38:33	もう重野通りで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:35	臨界プレートではないんですが、当然、遠いってところが明確にもありますので、ただ、どの程度の影響なのかっていう規模感を、
1:38:45	お示しするために 38 は追加をさせていただいてるという状況です。
1:38:52	これすいません 38。
1:38:55	この
1:38:56	右側ですよ、構造図って書いてあるこの、
1:39:01	これは 36 でいうと、
1:39:05	この伊豆藤湖周辺って書いてあるところの上に幾つかありますよね。
1:39:09	これですか。はい、わかりました。そこにつぶつぶがいっぱいあるので、一応そこと、
1:39:18	距離で見ていただきますと明らかに
1:39:20	想定沈み込む海洋プレート内地震と全日数の方が、近い。
1:39:25	て影響も大きかろうと思うんですが、この小さいのがもし全部一緒に動いたらどうなのかっていうところが、多少懸念されるということもあります、
1:39:36	38 ページではそれぞれ、
1:39:38	ある領域として、
1:39:41	単独で選びつつも全部一緒に動いたとしても、それでも、
1:39:46	御前崎の想定沈み込む海洋プレート内地震よりは小さいですねと。
1:39:51	いう規模感をお示しさせていただいているというもの。
1:39:58	今わかりましたわかりました。位置付けわかりました。
1:40:24	後すいませんあと同じプレート内の一戸。
1:40:30	振り方ですかね。
1:40:31	4546 を見ると、
1:40:35	一応両方ともう 1 の②。
1:40:40	が最大を、
1:40:45	最大っていうのは、水位低下時間と水位上昇分町
1:40:50	低下時間低下時間これ、
1:40:53	0.9 分、これ一応 30、46 ページごめんなさい、三十三、四 16 か。
1:40:59	4546 で、
1:41:00	上昇側最大 1 なので、
1:41:06	12 の北西傾斜。
1:41:11	最大を
1:41:13	叩いていて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:16	下降側も、これは、
1:41:21	同じく、
1:41:22	1 小村時から内陸側に 10 キロ、
1:41:26	1 も、②で、
1:41:30	これワー
1:41:33	加工水で、選んでそれとも、
1:41:37	時間で選んでいてたまたま降水も同じですってということなんですかねこれ。
1:41:47	はい。中部電力の森です。スイテキカジ間の三口方をしたまりがないものもありますので、まず加工水で、選んでいます。で、
1:41:56	水が小さいので結果的に時間も長くなっているものが選ばれているというふうに考えて、
1:42:05	まずあれですかな運営と飲み口よりも、
1:42:10	下回るかどうかは当然ながら加工水で見るとはなくて、
1:42:15	最後は時間で見ています。
1:42:21	中部電力のもので。審査カイダ上、水位下降側も、高さだが、
1:42:26	メインだったはずで衛藤。
1:42:29	プレート間地震の津波がもう海底面まで行ってしまっているので、我々は独自に推定した時間を評価軸としてご説明させていただいています。はい。その違いですね。はい。
1:42:44	海底面まで出てしまっただけでこれ以上水位低下も何もないっていう。
1:42:49	フリート間の本当にはいい、わかりました。
1:42:53	一応これ一その上昇側も下降側もそうだし、万が一とか
1:42:59	トラック軸付近から内陸側にどう動かしていくかっていうところも、
1:43:05	振れ幅の真ん中辺りで最大叩いてるんで、一応市野。
1:43:12	一応場所ずらしたりとかっていう範囲も、そこでよろしいでしょうと、そういう考えですかね。
1:43:19	これはもう、もしその 14 とかになると、もうちょっと西側に戻したらどうなんだみたいな話も出てくるんですけど。
1:43:26	条項振ってる範囲内のところで、これよりも降ったらどうなるっていう範囲までは行っていないので、
1:43:33	その範囲に収まっている。
1:43:35	とこできちんと最大を拾えてるので、市の
1:43:40	降り方もこのぐらいでよろしかろうと、そういう考えですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:50	はい。一部電力モリです。おっしゃる通りです。
1:44:04	コアプレート内で何かありますか。
1:44:08	なければ、
1:44:10	ちょっと誰か時間がない。
1:44:29	そうですね。プレート間会区切りますかっていうかちょっと内陸地殻内の方は、結局、ホ、パラスなんていうか、
1:44:39	安部の式で選んで、ざっと簡易計算を、そのあとパラメータをちょっと入れて計算をして、
1:44:47	パラスト管理のというか、その先のパラストするかは、次の資料がないとわからないので、あんまり詰めてもお互いに、
1:44:58	結局次。
1:44:59	次のものを見てからの方がいいかなとは思いますが、
1:45:02	ちょっと出しさっきの分岐断層のところですかね、この分岐断層彼1人では、
1:45:08	プレート間地震が見込めないと何もできやしないんですよっていうところは、ちょっとそこはわかるよ。
1:45:13	してもらおうというのはさっきあったので、
1:45:17	それ以外で言うとは少し、
1:45:22	単独のところ、明らかに小さいっていうのはもともとわかっていた話なんで、ちょっとその組み合わせに向けて、
1:45:30	その検討に向けても、そのパラスト一部分ですかね、ちょっとそこら辺を見ながら、
1:45:35	だし。
1:45:37	あとは家をそうですね。
1:45:41	地すべりの方でも平成 26、6メートルぐらいが一次ピークで、
1:45:47	ちょっと今回断層でいうと、
1:45:51	そうですね。
1:45:55	それよりは大きくはないんだけどちょっとさっきの S26 もうなんか第1ピークが一番叩くのが第2ピークなのかな、第1ピークが6.4じゃなくてももうちょっと低いみたいな所もあったんで、
1:46:08	ちょっとそこら辺あたりはプレートないじゃないやと。
1:46:13	海域活断層か、これのちょっと津波評価等、少しそのパラストるとどのぐらいまで増えていくのかってところを、
1:46:22	ちょっと見ながら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:24	運転ちょっとイメージし、しようかなと思いますんで、
1:46:28	岡山の家に、この近く大地震のところで少し聞いておくことある方います。
1:46:35	大丈夫ですか。
1:46:38	え。
1:46:40	全般、
1:46:42	なければ再び全般的な、
1:46:45	ところに戻ってもいいですけど、
1:46:56	資料の 20 ページ階はプレート内、
1:46:59	の結果のところ。
1:47:01	申請時からの変更概要っていうところで、左右でちょっと気になってるところがあって、
1:47:08	海洋プレート内の地震のところの水位上昇側、
1:47:12	これ
1:47:16	12 号取水槽のところ、
1:47:19	今回の方が低くなってしまってるんですけど、
1:47:23	これー18 ページとかの関係でいくと、
1:47:27	1ヶ所が複数箇所になったっていうところに違いがあるだけのようにこう見えるんですけど、なんでこれ、
1:47:34	12 号の取水槽だけは値値が小さくなっているんでしょうか包絡。
1:47:40	するはずなんだけど何でっていうのがちょっとわかんなかったんですけど。
1:47:45	はい。中部電力の盛です。
1:47:48	すいませんちょっとこちらは表現表現というか記載を検討させていただきます。20 ページの方は敷地前面で 6.1 というのを選んでいてそのケースだけをちょっと書いていて、最大値というか包絡値というか、
1:48:01	すべて検討した中の一番最後ちょっと書いていないので、前回からちょっと小さくなって見えてしまっています。ちょっと誤解を与える恐れがあるので表現を改めさせていただきたいと。
1:48:12	はい。
1:48:13	はい。思います。
1:48:39	はい。中部電力の盛です。あんまりその敷地前面が大きいケースとか、主に大きいケースとか、明確に何かあるわけではないんですけども。は

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	い。ちょっと数字が転ぶ時もありますので、最大1イトウの記載に改めさせていただきます。
1:49:06	あそうか、だからそうするとさっき敷地前面とつい加工側、
1:49:14	同じだったけれども、ちょっと取水槽のところで、多少は違うんですね。はい。
1:49:23	はい。中部電力の郷です。基本的にはこういう45ページ46ページのよう
1:49:30	真ん中あたりというか、ところで押さえられているというのを確認しているんですけども、それぞれちょっとケースがやや変わってきてるところがありますので、そこもわかるようにさせていただきますと思います。
1:49:40	大きく数字が変わるということではないです。よろしく申し上げます。
1:50:11	はい、規制庁サグチですちょっと細かいところも含めて、
1:50:15	次回、までに、ちょっとお願いというのか、
1:50:20	やっぱり気になるのが、
1:50:23	今日追加でもあって、先ほども私ちょっと確認をしましたけど、
1:50:27	5ページとか6ページのところで、じゃなぜ、海洋プレート内地震については、
1:50:36	これはもう組み合わせの対象にならないので、パラメータスタディやりませんとするのか、だからやっぱり組み合わせの対象とならないというところの根拠は、
1:50:47	しっかり示していただきたいと言うのと、
1:50:51	やっぱりですね先ほど13ページのところ話出しましたが、
1:50:55	これ、
1:50:57	今例えば一番下で6.1と22.7メートルって比較されてますけどこれやっぱり土俵が違うんですね。
1:51:04	なので、6.1、
1:51:07	制にするのであれば、やっぱりプレート間地震はこれ基準断層モデルでの値とか、
1:51:14	いわゆる基本となるものと比べてどうか、それでも多分10何メートルだったと思うので、それは大きいのはあるんですけど、これは22.7メートルというのは、
1:51:24	パラスターをした最終的な値なので、それと今、6.1メートルを比べるのはちょっとフェアじゃないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:32	いうところはちょっと、
1:51:33	理解していただきたいと思います。だから、本当のパラスターをする前 同土で例えば比べるとか、それでもうこんなに違いますよってというのは まだ、わかるんですけど、
1:51:44	医師企画をしてどうだという話であればちょっとフェアに比較をしてい ただきたいと。
1:51:51	あとごめんなさい。
1:51:53	前私がちょっと言った、ちょっと戻りましたけど、
1:51:57	刀禰。
1:51:59	何ページだっけ。
1:52:03	11 ページで、これちょっとよくわからなかったのが、
1:52:08	火山現象の話ですよ。これトンガの話なんですけど、なんでこっ *で、
1:52:14	書かれているのか、ってというのがこれ、何かまだ確定情報じゃないの で、参考的にされているのか。でも多分、この 70 センチっていうの御 前崎で 70 センチっていうのはもう公表されているので、
1:52:28	かといって、
1:52:30	上の地すべりは、
1:52:33	36 センチなんだけれどもこれは書いていると、その場合、倍ぐらいの、
1:52:38	火山現象については、バーになっても影響をおよぼした津波は確認され ていないで終わっていて、影響があるかないかと大きな影響があるかな いかって、
1:52:48	言われればそれは影響はないのかもしれないんですけど、
1:52:50	事実関係として敷地周辺の津波高として観測されたというところに、
1:52:56	なぜこう差別化をされているのかっていうのをちょっと教えてください。
1:53:07	中部電力の永松です。
1:53:09	こちら、ちょっと差別化した理由としましてはガイド上
1:53:13	考慮する対象の津波として、今回の当該のものが、気象庁ですとか産総 研ですとかの整理として、気圧変化による潮位変化であるというふうな 形で、
1:53:26	それによって 7 メートルってことは、観測はされてるんですけど、現象 として、
1:53:31	気圧変化による潮位変化であるということ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:34	考慮して、ちょっと差別化をしましているということではありますが、必要であれば
1:53:44	麻生津波ではないと、気圧変化による潮位変化であるということで、
1:53:53	はいわかりましたじゃ、その辺はですね一応今のこのアスタリスクで、
1:53:58	わかるのかなあ、これごめんなさいなの。
1:54:01	いえ、経由で、実際どうですか。来。
1:54:20	えーと、
1:54:22	規制庁の山田です
1:54:24	気象庁の方で情報発信の方が、
1:54:28	ちょっとしばらく前に更新されたと思うんですけども、その枠組みの中では、エンチ津波として扱うということになっています。
1:54:37	はい。
1:54:40	あくまでも情報発信の枠組みでだから、どこが責任を
1:54:48	負うかっていうところの話なんだと思うんですけども、そういう中では1津波となってるので基本的には津波っていう、
1:54:55	考え方でいいんじゃないかなと。
1:54:58	私はそう思ってますはい。
1:55:01	はい規制庁佐口です。最終的などう評価するかっていうのはもう御社の考え、いうところなので、これは別に津波じゃなくて単なる機種なんで、何でしたっけ。
1:55:12	長変化だという評価をされるのであれば当然それでもいいです。
1:55:18	いずれにしてもそんな数メーターとかあったわけじゃないんで、情報としてはだからわかるような形で書いていただければと思います。
1:55:30	で、
1:55:31	もう本当、もうこれ細かい事で申し訳ないんですけど、18ページの、
1:55:37	変更点ですね一番下の、
1:55:41	これ何か河川の位置がちょっと違うのは何か意味あるんでしょうかっていう、ごめんなさいしょうもないことなんですけど、波源位置を外してるのとつけてるの違いっていう。
1:55:53	はい。中部電力の盛です。特段意味ございません。合わせさせていただきます。
1:56:08	はい。あと、規制庁サグチです。40ページなんですけど、海洋プレート内の津波評価っていうことで、この設定条件っていうのは、何かに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:56:19	なんかも基づいて、こういうふうにしましたというのか、これは御社独自のオリジナルなのか例えば先行サイトでこういうことをされてるんで、
1:56:28	それを踏襲して、
1:56:30	加工しましたというのか。
1:56:33	ちょっと、この設定条件を、
1:56:36	載せ設定根拠といいますかね、考え方を教えてください。
1:56:43	はい。中部電力の森です。基本的にはその平面位置が網羅的になるようにということと、先行サイトも見ながら
1:56:51	パラメーターのフリー幅という、振り幅とかフル、
1:56:55	細かさですね、は、検討しています。で、
1:56:59	ある程度これぐらい、今、波長の長さの波源の長さの2分の1とかっていうのを書いてますけども、これぐらいのところで傾向については、先ほどのグラフで見ていただいた通り抑えられていると。
1:57:10	ピークがどこら辺泥層かという傾向は抑えられているというふうに考えている。
1:57:17	はい規制庁佐口です。なので何か例えば土木学会でこうだとか、そういうことではないっていう、そういう理解でまずいですね。
1:57:29	おっしゃる通りです。
1:57:31	規制庁サービスですか。
1:57:36	内陸地殻内はもうちょっと柄沢実際にやった後で、
1:57:42	多分比較されると思うんで、
1:57:44	別にこれは今後出てくる。
1:57:47	物を見たいと思うんですけど、
1:57:49	その一方で
1:57:52	ババされないっていうのは47ページのところにあるように、
1:57:58	先ほどもちょっとありましたけど、
1:58:00	これってあくまでも、
1:58:04	何ていうんすかね、評価時点。
1:58:07	敷地前面、
1:58:09	敷地前面、12号取水槽から取水槽っていう形で、
1:58:14	それぞれがチャンピオンになる値が書かれているわけではないっていう先ほどごそういうご説明でしたけど、
1:58:23	これは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:25	そのパラスターをする前で、当然いいんですけど、
1:58:30	今後はここが最大になるような数字に、
1:58:33	なってくるっていうことでよろしいですか。
1:58:38	はい。中部電力の盛です。おっしゃる通り、評価地点ごとに最大の数値が見えるように、
1:58:46	記載をさせていただきたいと思います。
1:58:49	はい。規制庁サグチ先生わかりました。で、
1:58:52	ごめんなさいねくどいようですけど、13 ページとかで、これ、これに比べて、こっちの方が小さいっておっしゃってるんですけど、今これ書かれてるのは、
1:59:02	あくまでも敷地前面だけで、
1:59:05	他の地点ではどうなのか、例えば敷地前面だったらそれは確かにこっちのが小さいんだけど、取水槽で見たら、何か逆転するものが出てくるとか、そういう話も、
1:59:16	なきにしもあらずっていいのか、多分ないと思うんですけど、なのでそういうところを含めてですね。
1:59:23	敷地前面だけで、
1:59:26	比較して本当にいいのかどうか。
1:59:29	ていうところはちょっとですね。
1:59:31	もう少し、
1:59:33	丁寧にですね、
1:59:35	説明をしていただきたいと思いますけど、そこよろしいですよ。
1:59:41	はい。中部電力の郷です。はい、承知しました。13 ページは、ちょっと書き物なので、
1:59:49	等とか、敷地前面ではということで少し代表的に書かさせていただきますけれども、
1:59:56	先ほどの議論にあった 47 ページの最終結果、
1:59:59	ですね。
2:00:00	のところでは、
2:00:02	ちょっと今最大が書けてないというところありますけれども、プレート間地震のほうが規模感的にはどの評価時点でも大きいということは、きちんと記載させていただきたいと思います。
2:00:14	はい。よろしく申し上げます。私からは以上です。
2:00:24	はい、じゃあ、よろしいですか。あります。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:31	見ていく。1点だけ、すいません確認させてください追加資料の、
2:00:35	3ページのところで仮浦フィルターの記載とかあると思うんですけど、プレート間の時も検討していて今回組み合わせの時も考慮するっていうそういう理解でよろしいです。
2:00:48	電力の盛です。プレート間地震の時は考慮していませんで、衛藤と梶浦飛田入れ出すとかなり計算負荷が上がるということがあって、今回のその最終的な基準津波が決まるという段階で、
2:01:02	組み合わせの段階で入れさせていただきたいというふうに考えています。
2:01:15	はい。ちょうど時間も時間ですので、今日のヒアリングは以上で、
2:01:22	終了したいと思います。で、ちょっと追加資料と、本体といいますかです。ね3月1日がちゃんと、この辺を区、
2:01:33	溶け込ませつつ、少しその組み合わせも見据えた部分のところについて、今考え方書いてあるんですけどちょっともう少し方法論とかです。ねどういう形になっていくのかというところを足すという、
2:01:46	ことで、
2:01:48	どうします過去例。
2:01:49	はい。
2:01:54	もともと、
2:01:56	はい。
2:01:58	ということで、どうしますか根井とはいえ、
2:02:02	これプレートプレート内とか海域活断層の結果も含めて分厚いものにするか、なんていうか、切り離してですね、
2:02:11	いわゆる津波の全体少し、もちろん海域活断層とかプレート内地震の概要は各確認、説明は入れるんですけど、
2:02:20	切り離して少し先のゴールに近いというかそこを押さえに行くような形で、津波全体だけで、
2:02:30	説明するか、それす次その何ていうか、これ会合に向けた資料に、
2:02:36	もう1個1個数、順番に片付けていくと、後で手戻りがあって計算がある、増えると困るので、早めに後押さえに行くっちゃうことなんですけど。
2:02:45	資料としてはどんな感じで次の資料出そうと思う。
2:02:49	出ますかね。
2:02:52	はい、チーム電力アマノでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:56	そうですね
2:02:58	今日ご説明した通り活断層のパラスターなんかを織り込んだり組み合わせ方針のところは、浜岡の特徴を踏まえてこういう傾向があるのでこういうやり方ですよ。
2:03:10	いうところ、よくわかるように、見える化したものもつけながら対応したいと思ってるんですけど。
2:03:17	そんなに長時間は変わらずに提出できるんじゃないかなというふうに思っている。ボリュームとしては今日お配りした資料に、そんなに何十枚も増えるという、
2:03:29	わけではないので、可能であればそのパッケージとして、両方議論いただくと例えば、
2:03:38	個別個別の
2:03:40	活断層のパラスターがこれで十分かどうかという議論を先にさせていただけると、ファイナルのときに織り込んでやるってことも、
2:03:48	我々としてできるので、一緒にやっていただくと、論点を先にご議論いただけるんじゃないかなというふうに、
2:03:59	考えております。
2:04:00	一方で、
2:04:02	組み合わせ方針だけ、もう本当にすぐ、例えば来週とかに審査会合をかけたいただけるっていうぐらいのオーダー感であるならばそれだけ早急にやるっていうことも、
2:04:12	手としては私たちとしてもある。すいませんすいません海域活断層の方の3断層ですかね。
2:04:19	ぐらいであればそんなに時間がかからないっていうことなんで、
2:04:23	ですかねもっていかすすでに着手はしてるんでしょうけど、
2:04:27	なのでなんかあんまりそこを分割してたよりもそんなに分厚いものではないので、
2:04:33	地震による津波、まず1回も審議しないですね、地震による津波と、あとはその先の話というところを、
2:04:42	そこを一気通貫で説明。
2:04:45	そして、
2:04:47	ある程度あの辺りというか、論点がもし比叡出てくるんで出てくるというか、あるのであればその間にもう1個の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:57	地すべりの方とかを最後仕上げにかかるっていうふうなそういうあるイメージですかね。
2:05:02	わかりました。考え。はい。
2:05:08	そうすると、じゃあ次またその資料がある程度仕上がってきやそうな段階で、2回目の
2:05:17	ヒアリングの申し込みということでお願いします。
2:05:22	そうするとどうしますかねまずじゃちょっとそっちを早急にやるということで、ちょっとその間次第で、
2:05:30	まずあるかな。一応滑りの方も、後はもらってるんで、タイミング次第なんですけど、もう早急にそちらの地震による津波の方とか全体の話とかで、
2:05:41	うまく乗るんだったらそっちにしますし、ある程度の時間が空くんだったら、
2:05:47	ちょっと地すべりの方とかかなり分厚い強い人も1、入れ替わってるのもいるのであるので、どこかで1回説明の機会を設けさせてもらうかもしれないので、そこら辺は、
2:05:58	ちょっと進捗を見ながら、考えたいと思います。はい。
2:06:02	じゃあよろしいですかね。
2:06:03	いや、以上でヒアリング終了しますお疲れ様でした。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。